取扱説明書

コンパクトコンポーネントシステム

型名 EX-A3

型名 EX-A3LTD

本機のスピーカーは、原音を忠実に再現するためにキャビネットと振動板に天然木を使用しています。そのため、外観が一台ごとに異なります。

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に４～６ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

http://www.victor.co.jp/reg/

LVT1630-001B

もくじ

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前には、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

はじめに

接続 / 準備

基本操作

ラジオを聞く

ディスク / ファイル再生の基本操作

ディスク / ファイル再生の便利な機能

他のオーディオ機器の音声を聞く

タイマー

ご参考に

本書の見かた

- 本書では、主にリモコンのボタンを使って操作説明をしています。本体に同じマークのボタンがある場合には、どちらのボタンもお使いいただけます。
- 本書内のイラストやテレビ画面は、説明のため簡略化や誇張しているものがあります。
- 本書は、EX-A3 のイラストを例に説明しています。
- 本書の説明とは異なる操作でも働く機能があります。
- ディスク / ファイル制作者の意図により、ここでの説明と異なる操作結果となることもあります。
- どの種類のディスク / ファイルで操作できるのかを、下記のマークでお知らせしています。

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MP3 WMA
WAV　JPEG　MPEG1 MPEG2

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

●この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

●この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水場での使用禁止

接触禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠ 警告

電源プラグを抜く

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

●煙が出ていたりへんなにおいがするとき
●内部に水や異物が入ってしまったとき
●落としたり、破損したとき
●電源コードが傷んだとき (芯線の露出や断線など)
すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解禁止

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

水場での使用禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。
●電源コードを加工しない
●電源コードを無理に曲げない
●電源コードをねじらない
●電源コードを引っ張らない
●電源コードを熱器具に近づけない
●電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

⚠ 警告

交流 100V(ボルト) 以外の電源電圧で使用しない。

火災の原因となります。

本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- ●あお向けや横倒し、逆さまにしない
- ●本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- ●テーブルクロスを掛けない
- ●本や雑誌などをのせない
- ●じゅうたんや布団の上に置かない
- ●設置するときは、壁などから 10cm 以上離す

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- ●調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- ●湿気やほこりの多い所
- ●熱器具の近くなど高温になる所
- ●窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が切れていても本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が切れていても本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける。

本機は電源プラグの抜き差しで、主電源が入ったり切れたりします。本機を設置するときは、できるだけコンセントの近くに設置してください。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

●指定以外の電池を使用しない
●電池のプラス（＋）とマイナス（－）を間違えない
●電池のプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせない
●電池を加熱しない
●分解しない
●火や水の中に入れない
●新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
●種類の違う電池と混ぜて使用しない
●乾電池は充電しない
●長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。

万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

手を挟まれないよう注意

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。

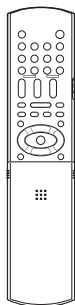
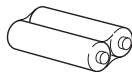
電源を切る前に接続したテレビやアンプなどの音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

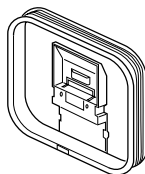
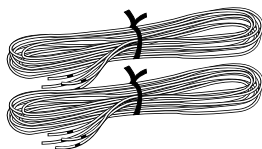
ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をおよぼすことがあります。

欧州連合のリサイクルマークです。

付属品

リモコン (1 個)
EX-A3 :RM-SEEXA3
EX-A3LTD :RM-SEEXA3LTD

単 3 型乾電池 (2 本)
(リモコン動作確認用)

FM 簡易型アンテナ (1 本)

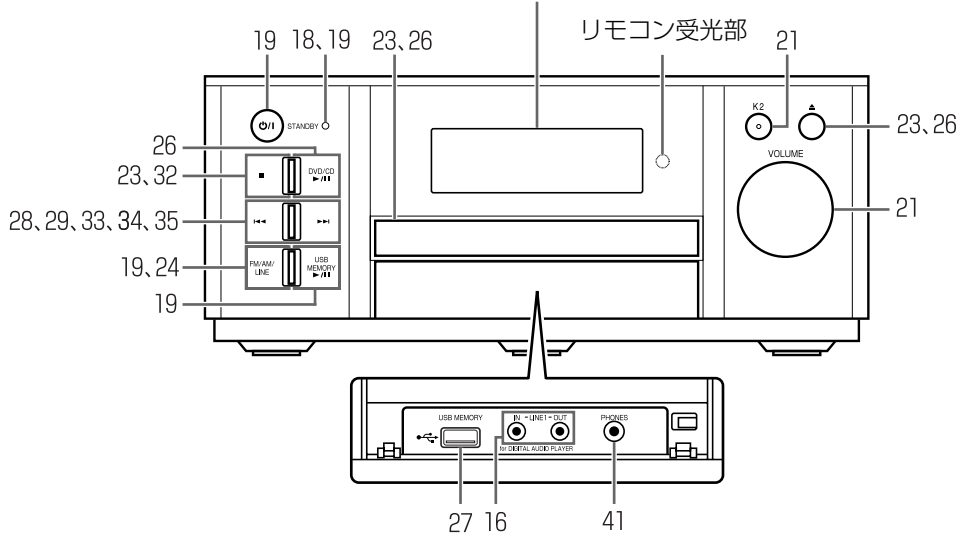
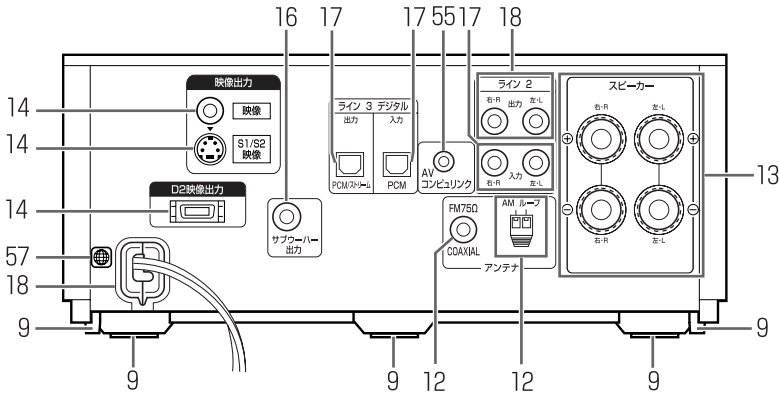
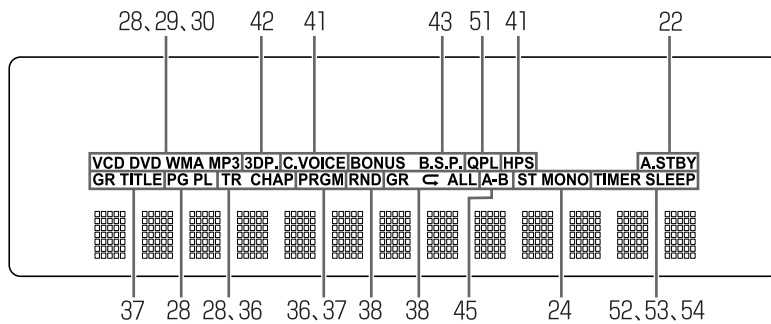
AM ループアンテナ (1 個)

スピーカーコード 3m (2 本)

ビデオコード (1 本)

各部の説明ページ

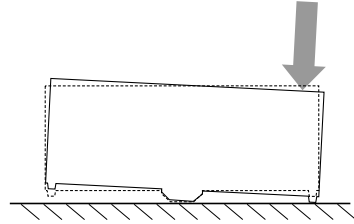
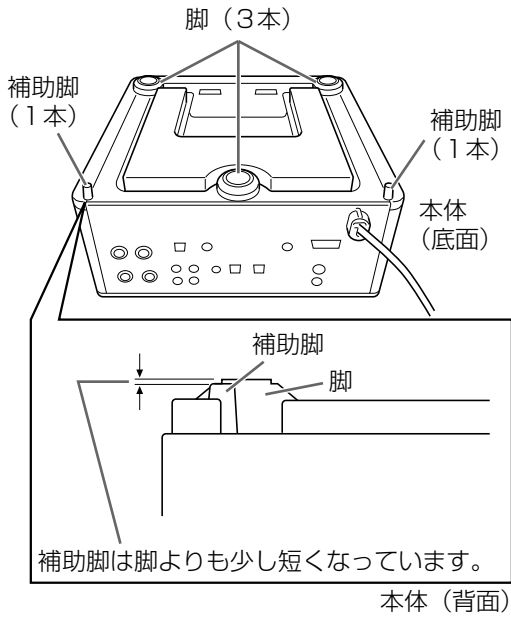
数字は説明しているページ番号です。

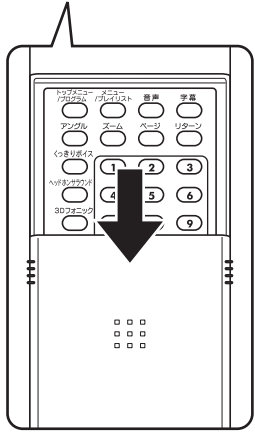
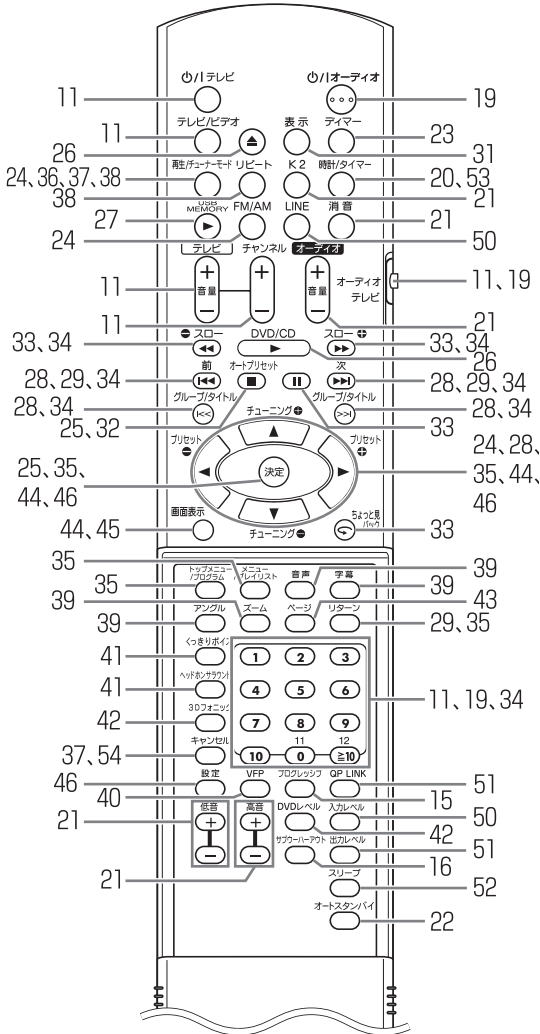
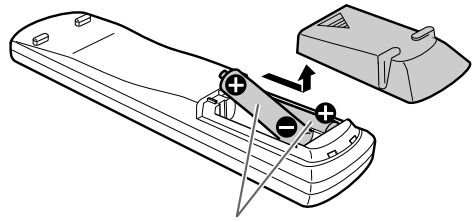
前面

背面

表示窓

脚と補助脚の役割

本体を３本の脚で支えることにより、安定した設置と音質の向上を図っています。

また、上から押されても本体が大きくぐらつかないように、２本の補助脚がついています。補助脚は脚よりも少し短いので、通常は接地していません。

リモコンについて

数字は説明しているページ番号です。

リモコンに電池を入れる

単３型乾電池（２本）

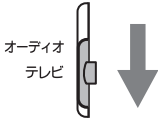
リモコン内部の極性（⊕/⊖）表示に合わせて正しく入れてください。

ご注意

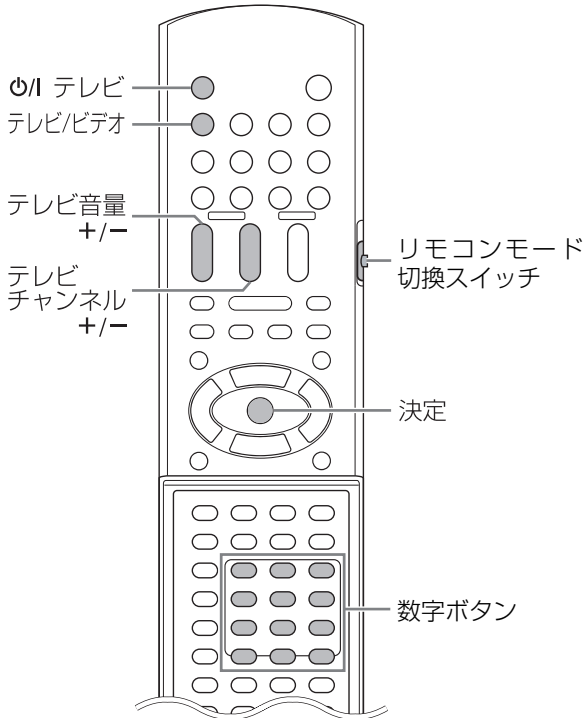
- 乾電池は、６ページの「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しく取り扱ってください。

リモコンで本機を操作する

リモコンを使うときは、本体正面に向けて操作してください。

お知らせ

- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

リモコンでテレビを操作する

本機のリモコンでテレビを操作することができます。

テレビのメーカー（メーカーコード）を設定する

1　リモコンモード切換スイッチを [テレビ] 側にする

2　[⏻/I テレビ] を押し続ける

・[⏻/I テレビ] は、手順 4 が終わるまで押したままにしてください。

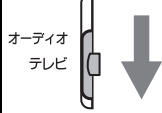
3　[決定] を押して離す

4　数字ボタンを押してメーカーコードを入力する

例：
07：[0] → [7]
11：[1] → [1]
30：[3] → [0] の順に押します。
2 つ以上の番号（メーカーコード）があるメーカーの場合、順番に試してみて正しく動作する番号を選んでください。

　　　：お買い上げ時の設定

ビクター	01、02、03
アイワ	28、29
NEC	15
コルティナ	31、32、33、34
サンヨー	04、05、06
シャープ	07、08
ソニー	11、12、13
東芝	14
パイオニア	16
日立	17、18
フィリップス	30
富士通ゼネラル	09、10
フナイ	19、20、21、22
松下	23、24、25、26
三菱	27

5　[⏻/I テレビ] を離す

お知らせ

・メーカーコードは予告なく変更されることがあります。上記のメーカー製テレビでも操作できない場合があります。
・リモコンの電池を交換したときは、メーカー設定をやり直してください。

テレビを操作する

リモコンをテレビに向けて操作します。

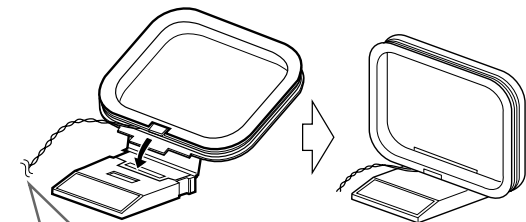
リモコンボタン	操作	
[⏻/I テレビ]	電源を入れる / 切る	
[テレビ/ビデオ]	テレビとビデオ入力を切り換える	
[テレビチャンネル +/−]	チャンネルを変える	
[テレビ音量 +/−]	音量を調節する	
数字ボタン（1～12）	あらかじめリモコンモード切換スイッチを[テレビ]側にしておいてください。 オーディオ テレビ	チャンネル（1 ～ 12）を選ぶ

接続 / 準備

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差さないでください。

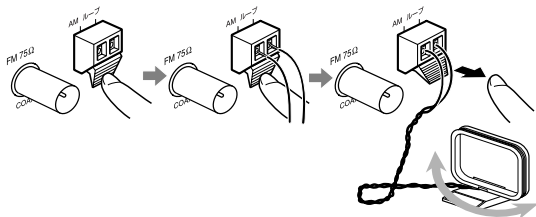
アンテナを接続する

AM ループアンテナ（付属品）を接続する

AM ループアンテナを組み立てる

<u>**お知らせ**</u>

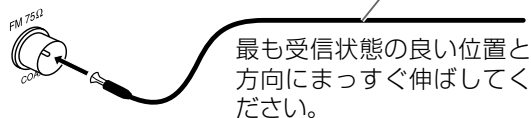
・ AM ループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。枠からはずすとアンテナの効果がなくなり、感度が悪くなります。

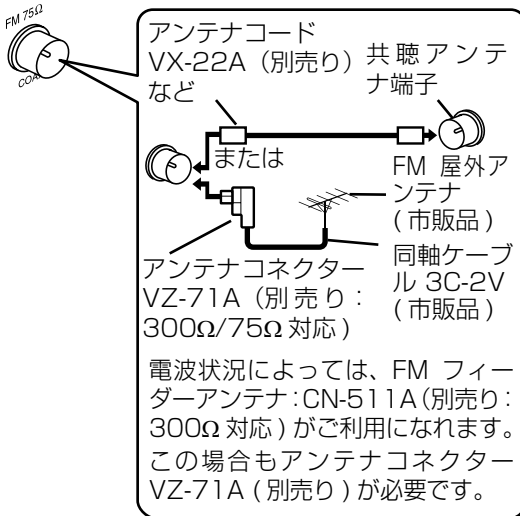
AM ループアンテナを接続する

本体（背面）

接続した AM ループアンテナを左右に回して最も受信状態の良い方向に向けて置きます。

<u>**お知らせ**</u>

・ アンテナ線が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。受信の妨げになることがあります。

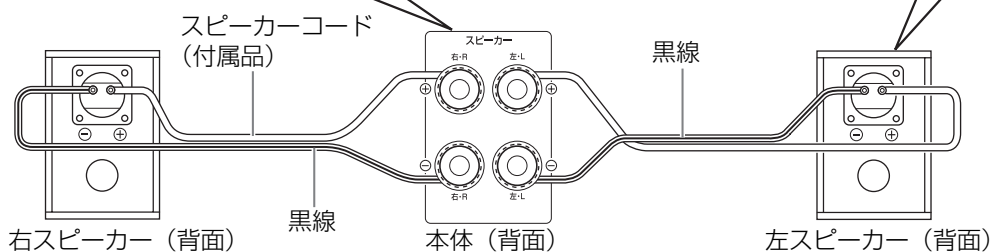
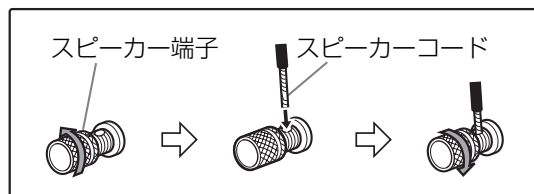
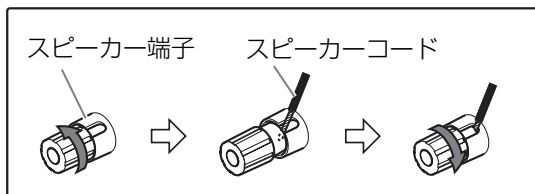
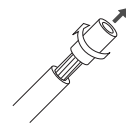
FM 簡易型アンテナ（付属品）を接続する

付属の FM 簡易型アンテナではうまく受信できないときや、マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

本体（背面）

付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書を参照してください。

アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください（→ 24 ページ「ラジオを聞く」）。通常、窓の近くに設置すると受信状態が良くなります。

スピーカーを接続する

スピーカーには左右の区別はありません。

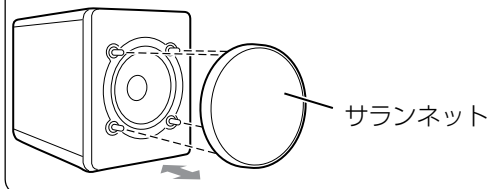
スピーカーコードを接続する前に、先端のビニールをねじりながら抜き取ります。

■ 重要

- スピーカーコードの接続を間違えると、ステレオ感や音質がそこなわれます。
- 本機のスピーカーは防磁設計（JEITA 仕様）になっておりますが、設置方法によってはテレビに色ムラを生ずることがあります。次の点にご注意ください。
  1. 必ずテレビの主電源スイッチを切ってから設置してください。
  2. テレビの種類によって万一、色ムラが生じたときはテレビとスピーカーを十分に離してください。
  3. テレビの主電源スイッチは､切ってから 30 分程度待ってから入れてください。

本機のスピーカーは、原音を忠実に再現するためにキャビネットと振動板に天然木を使用しています。
そのため、外観が一台ごとに異なります。

ご注意

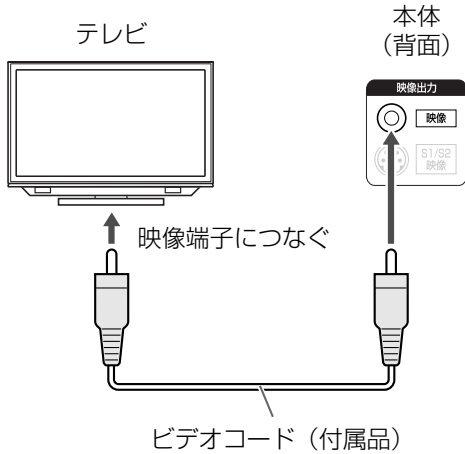
- スピーカー端子の ⊕ と ⊖ をショートさせないでください。故障の原因となります。
- 本機に接続できるスピーカーのインピーダンスは、４Ω～１６Ωです。
- 他のスピーカーとは、一緒に接続しないでください。負荷インピーダンスが変わり、本体およびスピーカーの故障の原因となります。

サランネットは取り外すことができます。

お知らせ

- 本機のスピーカーには、別売りのスタンド LS-EXA3 をお使いいただけます。

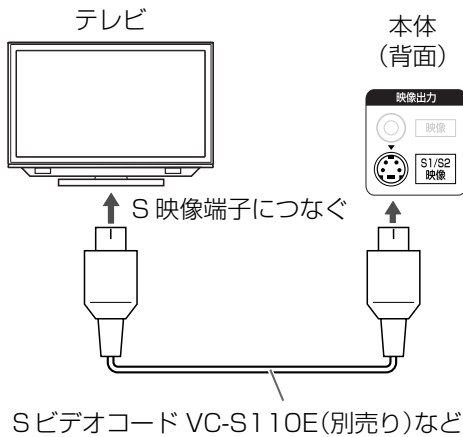
テレビを接続する

ビデオコードで接続する

ビデオコード（付属品）

このあと、映像信号方式を「INTERLACE」(インターレース) に設定してください。(→ 15 ページ「映像信号方式を設定する」)

S ビデオコードで接続する

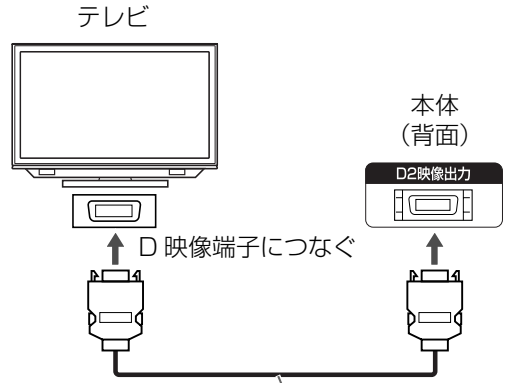
付属のビデオコードよりもきれいな映像をお楽しみいただけます。

S ビデオコード VC-S110E(別売り)など

このあと、映像信号方式を「INTERLACE」(インターレース) に設定してください。(→ 15 ページ「映像信号方式を設定する」)

お知らせ

・本機の [S1/S2 映像] 端子は、S1 および S2 映像信号に対応しています。S 映像信号にフルモード (縦長の映像) を自動判別するための識別信号を合わせた信号です。接続したテレビが S1 または S2 映像信号対応機種のとき、この信号を検知すると自動的に画面サイズを変更します。

D 端子用ビデオコードで接続する

Sビデオコードよりも、さらにきれいな映像をお楽しみいただけます。

D端子用ビデオコードVX-DS110(別売り)など

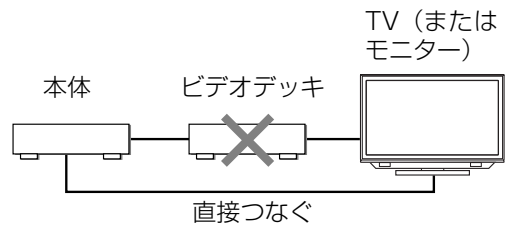
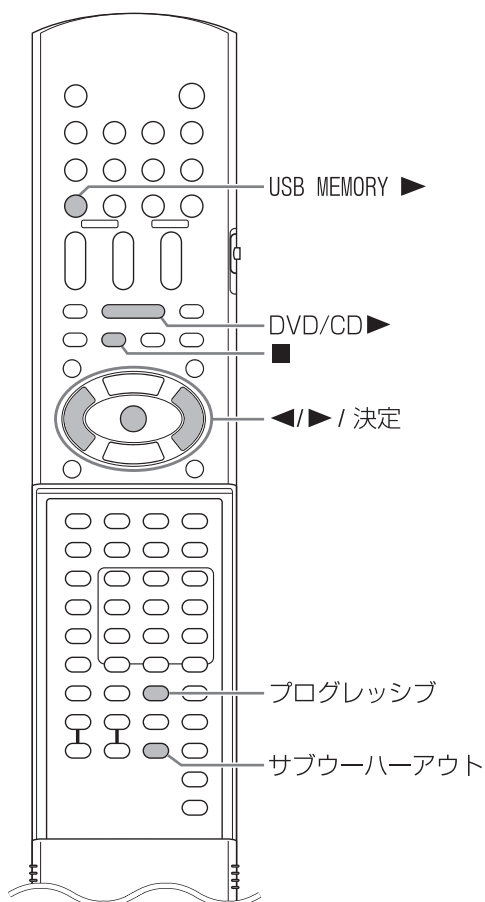
このあと、お使いのテレビの端子に合わせて、映像信号方式を設定してください。

・D1 端子のときは、「INTERLACE」(インターレース) に設定してください。
・D2 ～ D4 端子のときは、「PROGRESSIVE」(プログレッシブ) に設定してください。
(→ 15 ページ「映像信号方式を設定する」)

お知らせ

・本機は、D1 ～ D4 映像入力を持つテレビと接続できます。

■ **重要**

・S ビデオコード、D 端子用ビデオコードはどちらかを使用してください。両方を使用すると、映像が正しく再生されないことがあります。
・本機とテレビ（またはモニター）は、ビデオデッキなどを経由せず、直接つないでください。再生中に画像が乱れることがあります。（ビデオデッキを経由して接続しても音質には影響ありません。）

・本機とビデオデッキ内蔵テレビ（テレビデオ）をつないだときも、再生中に画像が乱れることがあります。

映像信号方式を設定する

お使いのテレビに合わせて映像信号方式を選びます。

1 電源を入れる

・18 ページの「電源コードを接続する」と 19 ページの「電源を入れる」をご覧ください。

2 [DVD/CD ▶] を押す

・ディスクが入っているときは、■を押して再生を停止させてください。

3 [プログレッシブ] を押す

・現在の映像信号方式が点滅します。

4 ◀または▶をくり返し押して、テレビに合った映像信号方式を選ぶ

・「INTERLACE 」（インターレース）または「PROGRESSIVE 」（プログレッシブ）から選べます。「PROGRESSIVE 」を選ぶと、「INTERLACE 」よりも高精細な映像を再現します。

・「INTERLACE」を選ぶと「PROGRESSIVE」時の半分の走査線を交互に表示します。従来の映像方式です。

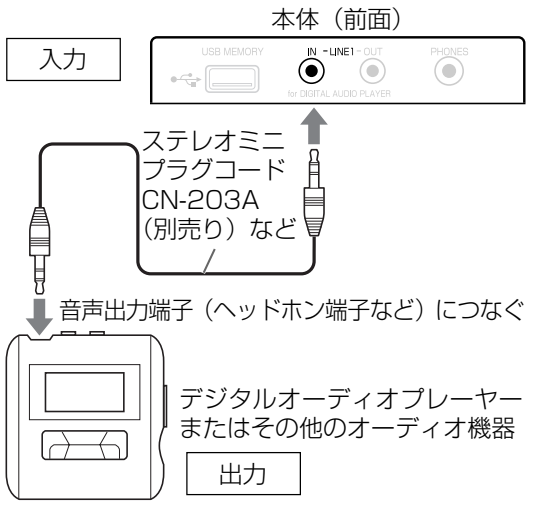
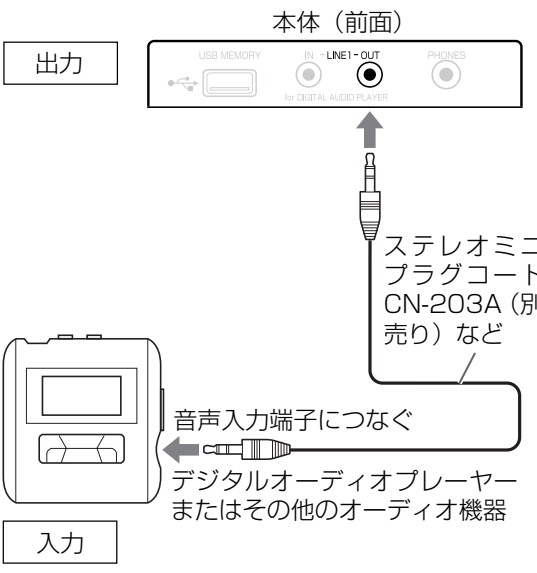
・「PROGRESSIVE 」を選ぶと一度にすべての走査線を表示します。

5 [決定] を押す

お知らせ

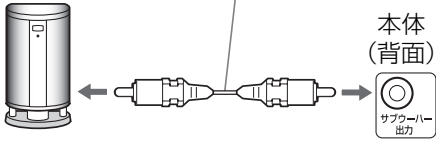
・ 本体の電源コードをコンセントから外したり、停電などで電源が切れたときでも、設定は保存されています。

デジタルオーディオプレーヤーを接続する

デジタルオーディオプレーヤーからのアナログ音声を聞く

デジタルオーディオプレーヤーにアナログ音声を出力する

K2 機能、くっきりボイス、3D フォニックまたはヘッドホンサラウンドが有効なとき、[LINE1 OUT] または [ライン 2 出力] 端子からの信号はサラウンド感のある音声として出力されます。元の音質で録音したいときは、これらの機能を解除してください。
録音中に K2 機能を入れたり切ったりしないでください。音声が途切れてしまいます。

- [LINE1 IN] 端子につないだ機器の音声信号は [LINE1 OUT] 端子から出力されません。

サブウーハーを接続する

アンプ内蔵サブウーハー（別売り）を接続すると、より迫力のある重低音がお楽しみいただけます。詳しくは、サブウーハーの取扱説明書をご覧ください。

サブウーハーからの音声を聞く

[サブウーハーアウト] を押して、表示窓に「S WOOFER ON」（サブウーハーオン）を表示させる

- [サブウーハーアウト] を押すごとに「S WOOFER ON」または「S WOOFER OFF」（サブウーハーオフ）に切り換わります。

お知らせ

- 「S WOOFER ON」にすると、左右のスピーカーからの低音が自動で小さくなり、低音は主にサブウーハーで再生します。

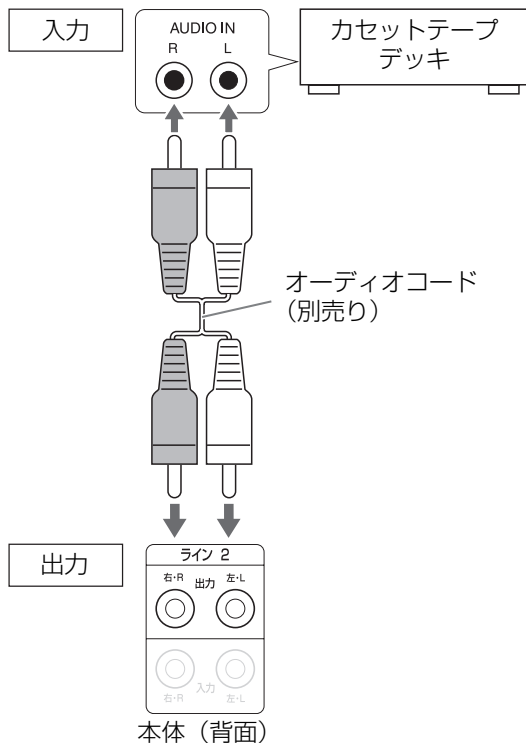
他のデジタルオーディオ機器を接続する

お知らせ

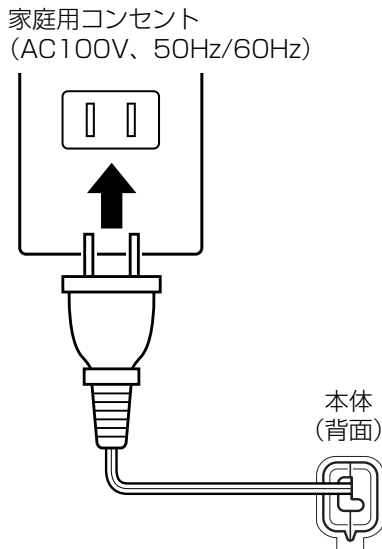
- ディスクや USB 機器をソースとして選んでいるときに、[ライン3デジタル出力] 端子から音声信号を出力することができます。
- 音声信号を [ライン 3 デジタル出力] 端子から出力しているときに、[3D フォニック] を押すと、音声が途切れることがあります。

他のアナログオーディオ機器を接続する

アナログオーディオ機器からの音声を聞く

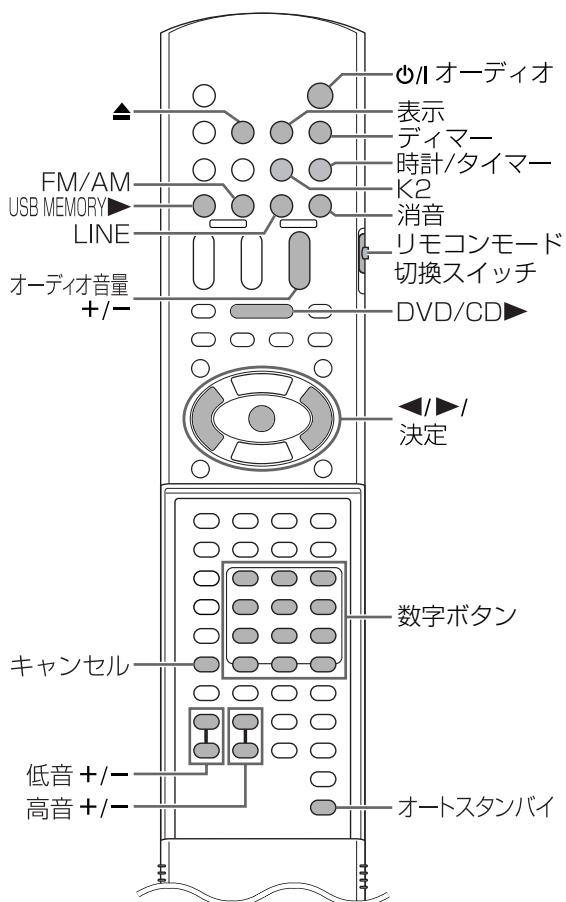
アナログオーディオ機器に音声を出力する

K2 機能、くっきりボイス、3D フォニックまたはヘッドホンサラウンドが有効なとき、[LINE1 OUT] または [ライン 2 出力] 端子からの信号はサラウンド感のある音声として出力されます。元の音質で録音したいときは、これらの機能を解除してください。録音中に K2 機能を入れたり切ったりしないでください。音声が途切れてしまいます。

・ [ライン 2 入力] 端子につないだ機器の音声信号は [ライン 2 出力] 端子から出力されません。

電源コードを接続する

・ 接続が終わるまで電源は入れないでください。
・ [STANDBY] ランプが点灯します。
・ 長時間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜き、安全と節電に心がけてください。
・ 電源コードをコンセントから抜いた状態や停電が 1 分以上続くと、時計の設定は取り消されます。またタイマー予約の内容は、停電状態になると取り消されます。復旧したら合わせ直してください。

基本操作

■ 重要

・リモコンモード切換スイッチを[オーディオ]側にしてください。

数字ボタンの使いかた

例：

5 ：[5]

15 ：[≧10]→[1]→[5]

150 ：[≧10]→[≧10]→[1]→[5]→ [0]

電源を入れる

リモコンの [⏻/I オーディオ]（または本体の ⏻/I ）を押す

・本体の電源が入り、[STANDBY] ランプが消灯します。

・本体の電源を切るときは、[⏻/I オーディオ] をもう一度押してください。

・電源が切れているときに、次のいずれかを押したときも本体の電源が入ります。
  - リモコンの [DVD/CD ►]、[USB MEMORY ►]、[FM/AM]、[LINE] または ⏏
  - 本体の [DVD/CD ►/❚❚]、[USB MEMORY ►/❚❚]、[FM/AM/LINE] または ⏏

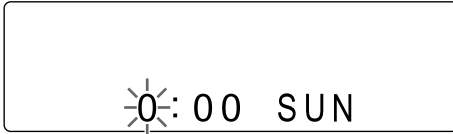
  このとき、それぞれのボタンに割り当てられている機能も働きます。

時計を合わせる

本体の電源が入っていても切れていても操作できます。

例： 水曜日の午前１０時３０分に合わせるとき

1 [時計 / タイマー] を押す

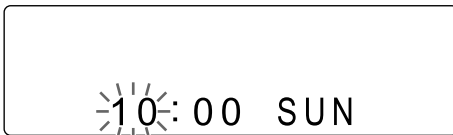
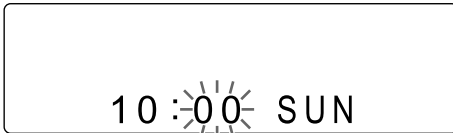
0 : 00 SUN

2 ◄ または ► を押して「時」を合わせる

・◄ または ►を押し続けると連続して変わります。

・数字ボタンも使えます。

10 : 00 SUN

3 [決定] を押す

10 : 00 SUN

4 ◄ または ► を押して「分」を合わせる

・◄ または ► を押し続けると連続して変わります。

・数字ボタンも使えます。

5 [決定] を押す

6 ◄または►を押して「曜日」を合わせる

・◄ または ►を押し続けると連続して変わります。

10 : 30 WED

・それぞれ次の曜日の略です。

SUN→Sunday（日曜日）

MON→Monday（月曜日）

TUE→Tuesday（火曜日）

WED→Wednesday（水曜日）

THU→Thursday（木曜日）

FRI→Friday（金曜日）

SAT→Saturday（土曜日）

7 [決定] を押す

・合わせた「分」の０秒から時計が動きはじめます。

お知らせ

- 操作の途中で [キャンセル] を押すと前の手順に戻れます。
- 本機の時計は２４時間表示です。
- 月に１分程度のズレを生じます。
- 電源コードをコンセントから抜いたり、停電などで電源が切れたとき、時計の設定は約 1 分間保存されます。

時計を合わせ直す

[時計 / タイマー] をくり返し押して時計を表示させ、手順２から操作する

使用中に時計を表示する

[表示] をくり返し押す

・31ページの「表示を切り換える」をご覧ください。

音量を調節する

[オーディオ 音量 +/－] を押す

・ 本体の [VOLUME] を回しても調節できます。

一時的に消音する

[消音] を押す

・ もう一度 [消音] または [オーディオ音量 +] を押すと、もとの音量に戻ります。電源を入れ直したときも、もとの音量に戻ります。

高低音のレベルを調節する

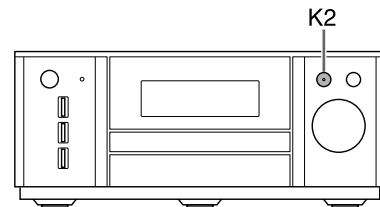
低音：[低音 +/－] を押す

高音：[高音 +/－] を押す

再生音質を高める（K2 機能）

K2 機能は、録音時に失われた信号成分を補完し、より自然な音声再生を可能にします。
デジタル音声にハイビット化（24bit）およびハイサンプリング化（128 kHz、176.4 kHz または 192 kHz）の処理を行い、信号成分を補完します。

リモコンまたは本体の [K2] を押す

・ K2 機能が有効なとき、本体の [K2] ランプ（ボタン）が点灯します。
・ [K2] を押すごとに、下記のように設定が切り換わります。
 - 「K2 Mode 1」：
 圧縮されていないデジタル音声信号（リニア PCM）を再生するときに最適です。
 - 「K2 Mode 2」：
 圧縮されたデジタル音声信号（ドルビーデジタル、DTS、MP3 または WMA）を再生するときに最適です。
 - 「K2 OFF」：
 K2 機能を解除します。

お知らせ

・ お買い上げ時の設定は「K2 OFF」です。
・ くっきりボイス、ヘッドホンサラウンドまたは３Ｄフォニックが有効なときに、[K2] を押すと K2 機能が優先されます。
・ ラジオや [LINE1 IN] または [ライン２入力] 端子に接続したオーディオ機器がソースとして選ばれているときに、[K2] を押すと「ANALOG SOURCE」が表示窓に表示され、K2 機能は働きません。ディスク、USB 機器または [ライン 3 デジタル入力] 端子に接続したデジタルオーディオ機器がソースとして選ばれているときに、K2 機能は有効です。
・ 32 kHz、44.1 kHz または 48 kHz のサンプリング周波数が、それぞれ 128 kHz、176.4 kHz または 192 kHz に拡張されます。
・ K2 機能は、「デジタル OUT」が「PCM のみ」のときに使えます（→ 48 ページ）。「DOLBY DIGITAL/PCM」または「ストリーム /PCM」のときは「NO OPERATION」が表示され、K2 機能は使えません。

オートスタンバイ

停止状態で 3 分間何も操作しないと、本機の電源が自動で切れます。
ディスク、USB 機器または [LINE1 IN] 端子に接続した機器がソースとして選ばれているときに、この機能を使えます。
ラジオまたは [ライン２入力] 端子または [ライン３デジタル入力] 端子に接続したオーディオ機器がソースとして選ばれているときは、この機能は使えません。

オートスタンバイを設定する

■ディスク、USB 機器または [LINE1 IN] 端子に接続した機器がソースとして選ばれているとき

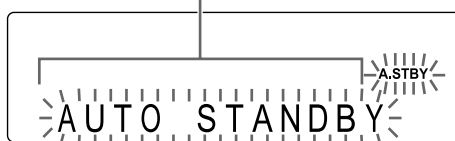
[オートスタンバイ] を押す

・ この機能を解除するときは、[オートスタンバイ] をもう一度押してください。（表示窓の表示が「A STBY CANCEL」に変わります。）

オートスタンバイの働き

ディスク、USB 機器または [LINE1 IN] 端子に接続した機器の再生が終わったときから、カウントが始まります。

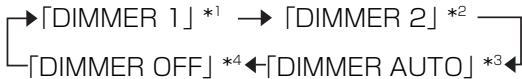
３分間何も操作しないと、本機の電源が自動で切れます。

リモコンのボタンの位置は
19ページをご覧ください。

表示の明るさを切り換える

■電源が入っているときに

[ディマー] をくり返し押す

・[ディマー] を押すごとに、下記のように設定が切り換わります。

→「DIMMER 1」*1 →「DIMMER 2」*2
「DIMMER OFF」*4 ←「DIMMER AUTO」*3 ←

*1 通常よりも表示が暗くなります。
*2「DIMMER 1」よりも表示が暗くなります。
*3 映像ディスク / ファイルの再生中に、表示が自動的に暗くなります。
*4 通常の明るさに戻ります。

表示を消灯する

本体の電源が切れているときに表示を消灯することができます。

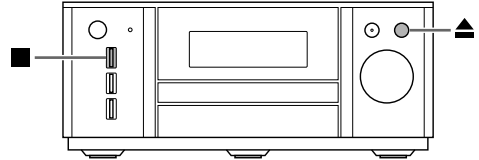
■電源が切れているときに

[ディマー] をくり返し押す

・[ディマー] を押すごとに、設定が「DISPLAY ON」または「DISPLAY OFF」に切り換わります。

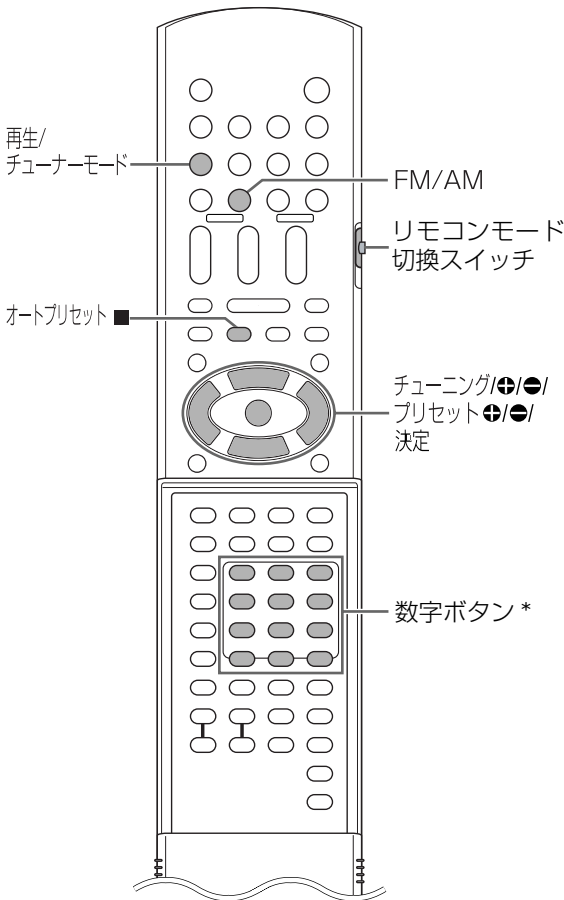
チャイルドロック

ディスクトレイに入れたディスクが取り出せないようにすることができます。

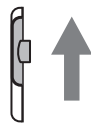
チャイルドロックを設定する

■電源が切れているときに

本体の ■ を押しながら ⏏ を押す

お知らせ

・チャイルドロックを解除するときはもう一度同じ操作をしてください（「UNLOCKED」と表示されます。）

ラジオを聞く

* 数字ボタンの使いかたは、19 ページの「数字ボタンの使いかた」をご覧ください。

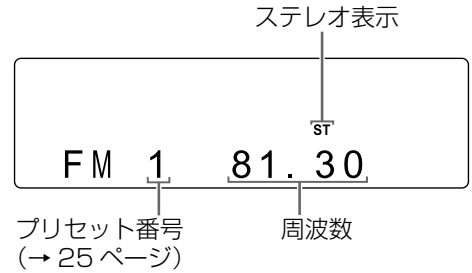
■ 重要
・ リモコンモード切換スイッチを[オーディオ]側にしてください。

放送局を選ぶ

1 [FM/AM] を押して、「FM」または「AM」を選ぶ

・FM放送またはAM放送がソースとして選ばれます。

・本体の [FM/AM/LINE] をくり返し押して、選ぶこともできます。

・[FM/AM] を押すごとに、「FM」と「AM」が切り換わります。

例：FM 放送の受信中

2 [チューニング ⊕] または [チューニング ⊖] をくり返し押して、放送局（周波数）を選ぶ

・FM ステレオ放送を受信すると、「ST」（ステレオ）表示が点灯します。

・オート（自動）選局を使って、放送局を選ぶこともできます。

■オート（自動）選局：

[チューニング⊕] または [チューニング⊖] を押し続け、周波数の表示が変わり始めたらボタンを離します。

・放送を受信すると自動で止まります。

・サーチの途中で放送局を選ぶこともできます。聞きたい放送局（周波数）が表示されたら、[チューニング⊕] または [チューニング⊖] を押して、オート（自動）選局を止めてください。

お知らせ

・ FM ステレオ放送が雑音で聞きにくいとき、[再生 / チューナーモード] を押し、音声をモノラルにすると聞きやすくなることがあります。（このとき「MONO」（モノラル）表示が点灯します。）もう一度 [再生 / チューナーモード] を押すと、ステレオ受信に戻ります。
・ AM 放送が雑音で聞きにくいときに、[再生 / チューナーモード] を押すと聞きやすくなる場合があります。（このとき「AM BEAT CUT」が数秒間表示されます。）
・ 本機は、テレビ 1 ch：95.75MHz、2ch：101.75MHz、3ch：107.75 MHz の音声を受信することができます。
・ 地上アナログ放送は２０１１年７月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、テレビの音声を聞くことはできません。
・ 本機はAMステレオ放送には対応していません。

放送局を呼び出す

放送局を記憶させておくと、次からは簡単に呼び出すことができます。

放送局を記憶させる（プリセット）

FM を最大 30 局、AM を最大 15 局まで、それぞれ記憶させることができます。

オート (自動) プリセット

FM と AM それぞれについて行なってください。

■FM または AM を受信中に

[オートプリセット ■] を 2 秒以上押す

AUTO PRESET

・受信できる放送局が自動で記憶され、その局のプリセット番号と受信周波数が表示されます。
・受信できるすべての放送局が記憶されるか、プリセットできる最大数まで記憶されると、自動で終了します。
・雑音の多い放送局も記憶されることがあります。
・前に記憶されていた放送局があっても、新しく記憶された放送局が上書きされます。

オートプリセットが終了すると、プリセット番号 1 に記憶された放送局が自動で受信されます。

マニュアル (手動) プリセット

放送局を 1 つずつ記憶させます。

1 記憶させたい放送局を選ぶ

・24ページの「放送局を選ぶ」をご覧ください。

2 [決定] を押す

・表示窓のプリセット番号が約 5 秒間点滅します。

3 プリセット番号が点滅している間に、[プリセット ⊕] または [プリセット ⊖] を押して、記憶させたい番号を選ぶ

・数字ボタン使って、プリセット番号を選ぶこともできます。

4 選んだ番号が点滅している間に [決定] を押す

・「STORED」と表示され、選んだ放送局が記憶されます。

お知らせ

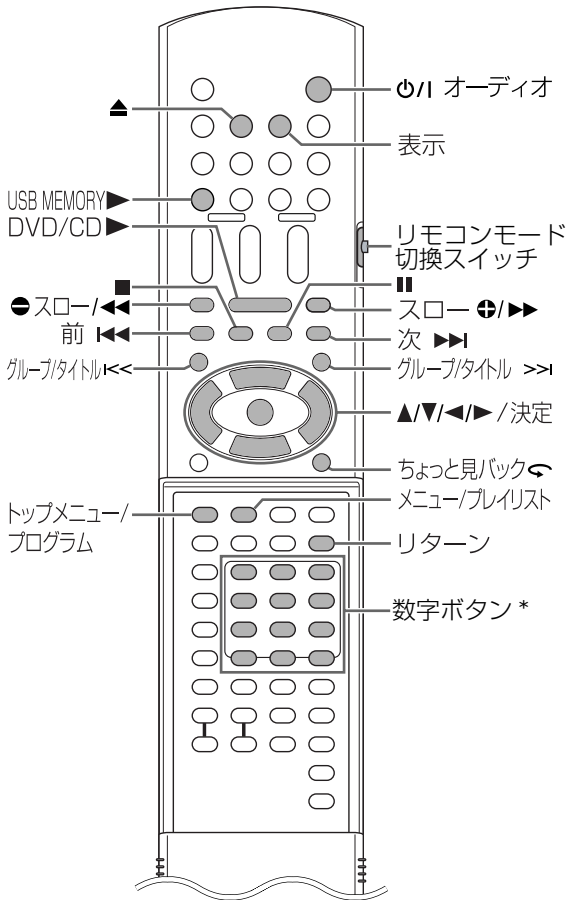
・ 同じプリセット番号に新しい放送局を記憶させると、前の放送局の記憶は消えます。

放送局を呼び出す

■FM または AM を受信中に

数字ボタンで、呼び出したい放送局のプリセット番号を選ぶ

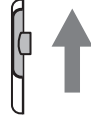
・ [プリセット ⊕] または [プリセット ⊖] を押して、プリセット番号を選ぶこともできます。

ディスク / ファイル再生の基本操作

* 数字ボタンの使いかたは、19 ページの「数字ボタンの使いかた」をご覧ください。

■ 重要

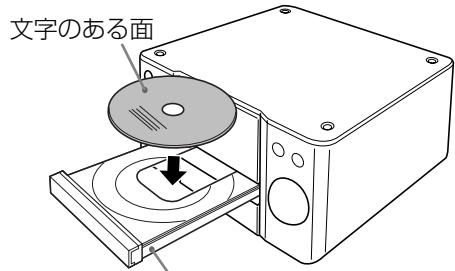
・ リモコンモード切換スイッチを[オーディオ] 側にしてください。

ディスクを再生する

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD

ここでは上記のディスクの再生について説明します。

1 リモコンまたは本体の ⏏ を押す

・ディスクトレイが出ます。

2 ディスクを置く

・8センチディスクは内側の凹部に置きます。

3 リモコンの [DVD/CD ▶] または本体の [DVD/CD ▶/❚❚] を押す

お知らせ

・ DVD では、再生開始後にテレビにメニュー画面が表示されることがあります。このときは ▲、▼、◀ 、▶、数字ボタンおよび [決定] を使って操作してください。（→ 35 ページ「メニューから選ぶ」）

ファイルを再生する

MP3 WMA　WAV　JPEG　MPEG1 MPEG2

ここではディスクや USB マスストレージ規格対応の USB メモリーやデジタルオーディオプレーヤーなど（以降、「USB 機器」）に記録されたファイルの再生について説明します。MP3 ファイルの表示を例に説明します。

お知らせ

- 59 ページの「USB 機器について」もご覧ください。
- ディスクや USB 機器に異なる種類のファイル（オーディオ / 静止画 / ビデオ）が複数記録されているときは、どの種類のファイルを再生するのかを設定してください。（→ 47 ページ「ファイルタイプ」）

1

（ディスクのとき）

ディスクトレイにディスクを置く

・２６ページ手順１および手順２をご覧ください。

（USB 機器のとき）

USB 機器を接続する

本体（前面）

お知らせ

- 本機の[USB MEMORY]端子はパソコンと接続できません。

2

（ディスクのとき）

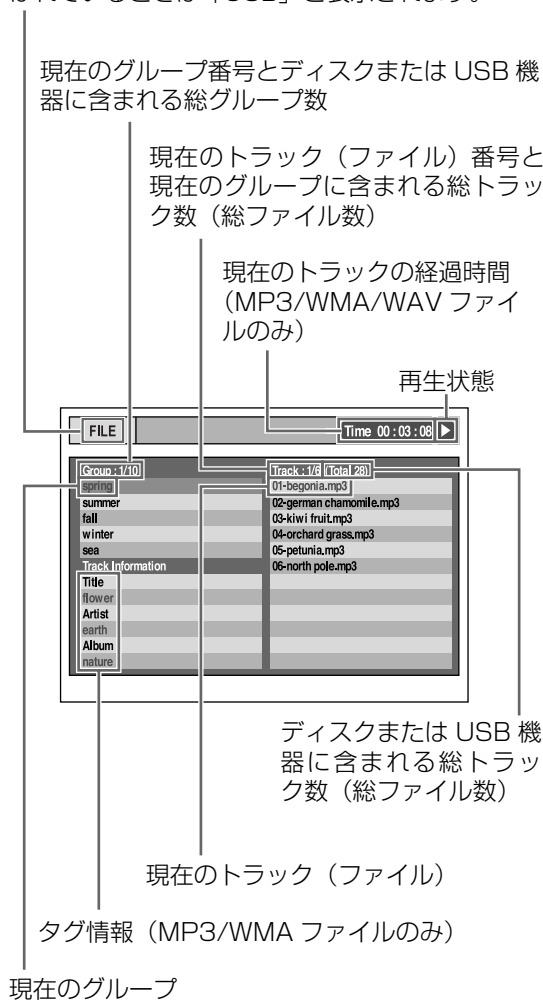
[DVD/CD ►] を押す

（USB 機器のとき）

[USB MEMORY ►] を押す

3 ■ を押して再生を停止する

・メニュー画面がテレビに表示されます。

USB機器に記録されたファイルがソースとして選ばれているときは「USB」と表示されます。

お知らせ

- ファイルの種類によっては ■ を押さなくてもメニューが表示されます。このとき、手順３はとばせます。

（次ページへつづく）

4　▲、▼、◄ または ► を押してグループとトラックを選ぶ

お知らせ

・[グループ / タイトル ⏮/⏭] を押してグループを、数字ボタン、[前 ⏮] または [次 ⏭] を押してトラックを選ぶこともできます。

5　[DVD/CD ►] または [USB MEMORY ►] を押す

お知らせ

・手順３が省かれたときは手順５も不要です。

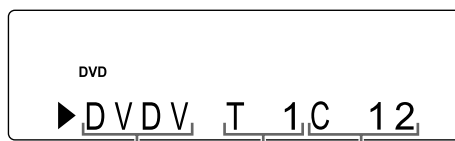
スライドショー再生

・JPEG ファイルは選ばれたファイルから順に再生が始まります。
・スライドショー再生の表示時間は約 3 秒です。
・[決定]を押すと選んだファイルのみ再生します。

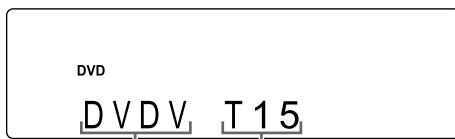
ディスク/ファイルタイプの表示

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MP3 WMA　WAV　JPEG　MPEG1 MPEG2

DVD ビデオ /DVD オーディオ / DVD VR

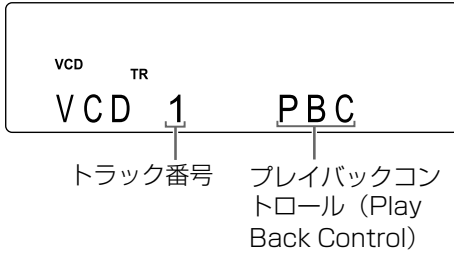
■再生中の表示

ディスクの種類　タイトル番号　チャプター番号

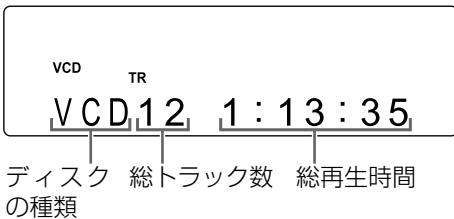
・DVD オーディオ再生中は、「DVDV」の代わりに「DVDA」が表示されます。「T」（タイトル）の代わりに「G」（グループ）が、「C」（チャプター）の代わりに「T」（トラック）が表示されます。
・DVD VR 再生中は、「DVDV」の代わりに「VR」が表示されます。「T」（タイトル）の代わりに「PG」（オリジナルプログラム）または「PL」（プレイリスト）が表示されます。
・DVD オーディオ再生中に「BONUS」または「B.S.P.」が表示されるときは、43 ページをご覧ください。

■停止中の表示

ディスクの種類　総タイトル数

・「RESUME」が表示されたときは、32 ページをご覧ください。
・DVD オーディオ停止中は、「DVDV」の代わりに「DVDA」、総タイトル数の代わりに総グループ数・総トラック数が表示されます。
・DVD VR 停止中は、「DVDV」の代わりに「VR」が表示されます。

VCD/SVCD

■再生中の表示

- 対話型のソフトや検索機能を持ったソフトなどの PBC（Play Back Control）対応ディスクをメニュー画面を使って操作することができます。
- PBC をオフにして再生したいときは、次の操作を行なってください。
  - 停止中に見たいトラック番号を数字ボタンで指定する。
  - 停止中に [前 ⏮] または [次 ⏭] でトラック番号を指定し、[DVD/CD ►] を押す。
- VCD または SVCD の PBC 再生中に、1 つ上の階層に戻るときは [リターン] を押します。

■停止中の表示

（PBC がオンのときは上の表示が数秒間現れたあとで下図の表示に切り換わります）

- 「RESUME」が表示されたときは、32 ページをご覧ください。

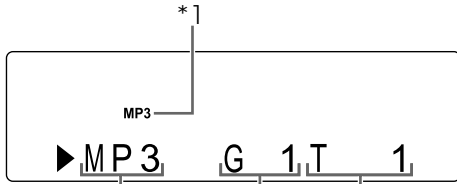
CD

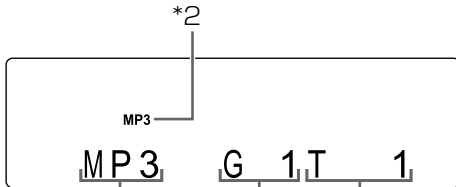
■再生中の表示

■一時停止中の表示

■停止中の表示

MP3/WMA/WAV/MPEG1/MPEG2 ファイル

■再生中の表示

*1「MP3」または「WMA」のみ表示されます。

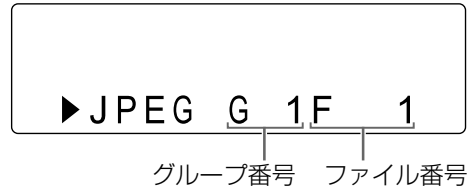
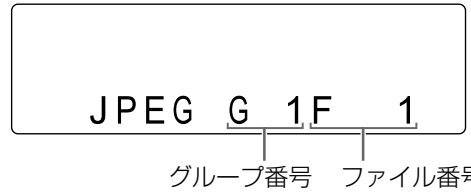
■停止中の表示

・「RESUME」が表示されたときは、32 ページをご覧ください。

*2「MP3」または「WMA」のみ表示されます。

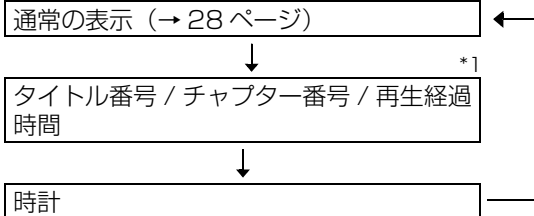
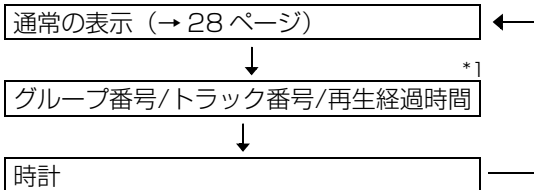
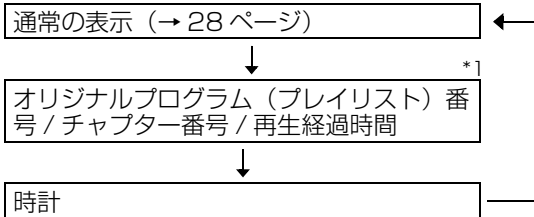
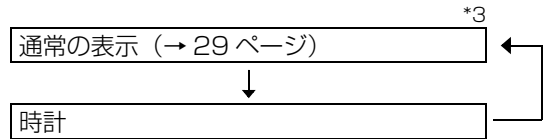
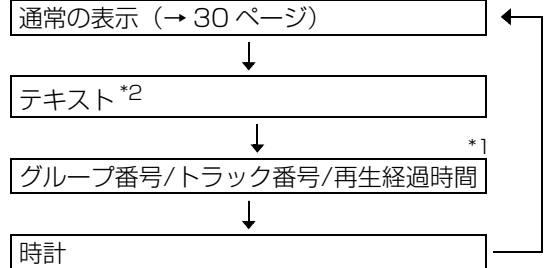
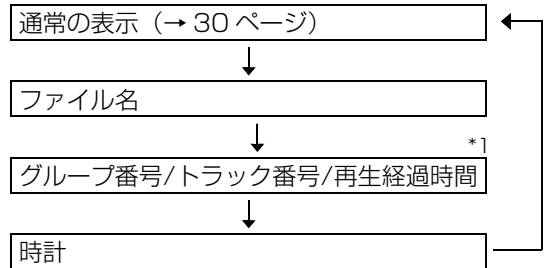
JPEG ファイル

■再生中の表示

■停止中の表示

表示を切り換える

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MP3 WMA　WAV　JPEG　MPEG1 MPEG2

再生中に [表示] をくり返し押す

・[表示] を押すごとに、表示が切り換わります。

■DVD ビデオ

■DVD オーディオ

■DVD VR

■VCD/SVCD/CD/JPEG ファイル

■MP3/WMA ファイル

■WAV/MPEG1/MPEG2 ファイル

*1 再生しているときに表示されます。

*2 MP3/WMA ファイルにタグ情報などのテキストが記録されているときは、表示窓にスクロール表示されます。

*3 PBC がオフのとき (→ 29 ページ)、「PBC」の代わりに再生経過時間が表示されます。

テレビに表示されるメッセージ
使用状況に応じて下記のようなメッセージが表示されます。

NOW READING：
ディスク / ファイル読み取り中です。しばらくお待ちください。

リージョンコードエラー！：
リージョン番号が異なるため再生できません。(→ 57 ページ)

NO DISC：
ディスクが入っていません。

NO USB DEVICE：
USB 機器が接続されていません。

OPEN：
ディスクトレイを開いています。

CLOSE：
ディスクトレイを閉じています。

このディスクは再生できません：
再生できないディスクです。

このデバイスは再生できません：
USB 機器の中に、本機で再生できるファイルがありません。

テレビに表示されるマーク（オンスクリーンガイド）

▶ ：再生

⏸ ：一時停止

⏪ ⏩ ：早戻し / 早送り

◀‖ ‖▶ ：スローモーション再生（逆方向 / 順方向）

：複数のアングルあり（→ 39 ページ）

：複数の音声あり（→ 39 ページ）

：複数の字幕あり（→ 39 ページ）

：そのディスク / ファイルでは、行なった操作が禁止されています。

停止する

DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR VCD SVCD CD MP3 WMA WAV JPEG MPEG1 MPEG2

■再生中に

■ を押す

あとで続きを再生する（リジューム再生）

DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR VCD SVCD MP3 WMA WAV MPEG1 MPEG2

再生を途中で停止したとき、その場面から再び再生することができます。

中断したいとき

■再生中に

次のいずれかを行う

■ を一回押す [*1] [*2]
[⏻/I オーディオ] を押して本体の電源を切る
ディスク / ファイル以外をソースとして選ぶ [*2]

*1「RESUME」が表示されます。
■を２回押すと位置の記憶が取り消されます。
*2 このあと [⏻/I オーディオ] を押して本体の電源を切っても、位置の記憶は残ります。

つづきを再生したいとき

[DVD/CD ►] または [USB MEMORY ►] を押す

お知らせ

- プログラム再生やランダム再生では機能しません。
- ディスクトレイを開けたり、USB 機器を取り外すと、記憶した位置が取り消されます。
- リジューム再生を解除することもできます。(→ 48 ページ「リジューム」)
- USB機器に記録されたファイルがソースとして選ばれているときは、上記の説明のように働かないことがあります。

一時停止する

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MP3 WMA　WAV　JPEG　MPEG1 MPEG2

■再生中に

II を押す

・[DVD/CD ▶] または [USB MEMORY ▶] を押すと通常の再生に戻ります。

画像を 1 コマずつ送る

DVD ビデオ　DVD VR　VCD SVCD　MPEG1 MPEG2
DVD オーディオ（動画部のみ）

■一時停止中に

II をくり返し押す

・本体の [DVD/CD ▶/II] では操作できません。

早送り / 早戻し

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MP3 WMA　WAV　MPEG1 MPEG2

次の 2 つの方法があります。

■再生中に

- **◀◀ または ▶▶ を押す。**
  ▶▶ を押すごとに、スピードが変わります。
  [DVD/CD ▶] または [USB MEMORY ▶] を押すと通常のスピードに戻ります。
- **|◀◀ または ▶▶| を押し続ける。**

お知らせ

・早送り / 早戻ししているとき、ディスク / ファイルによっては、音声が断続的になるものや、出ないものがあります。
・ディスク / ファイルの種類によって、選べるスピードや表示が異なります。

約 10 秒前から再生し直す（ちょっと見バック）

DVD ビデオ　DVD VR

■再生中に

[ちょっと見バック] を押す

お知らせ

・一つ前のタイトルおよびオリジナルプログラム（プレイリスト）に戻ることはできません。

スローモーション再生する

DVD ビデオ DVD VR VCD SVCD
DVD オーディオ（動画部のみ）

■一時停止中に

[⊖ スロー] または [スロー ⊕] を押す

・[⊖ スロー] または [スロー ⊕] を押すごとに、スピードが変わります。
・❚❚ を押すと一時停止、[DVD/CD ►] を押すと通常の再生に戻ります。

お知らせ
・音声は再生されません。
・逆方向では動きがなめらかにならない場合があります。
・VCD、SVCD または DVD VR では、順方向のみスローモーション再生できます。

頭出しする

DVD ビデオ DVD オーディオ DVD VR CD VCD SVCD MP3 WMA WAV JPEG MPEG1 MPEG2

■再生中に

[前 ⏮] または [次 ⏭] をくり返し押す。

・タイトルやグループを選ぶときは [グループ / タイトル ⏮/⏭] を押します。

お知らせ
・ランダム再生中に [前 ⏮] を押しても、前の曲には戻れません。（→ 38 ページ）

数字ボタンでチャプター / トラックを選ぶ

DVD ビデオ DVD オーディオ DVD VR CD MP3 WMA WAV JPEG MPEG1 MPEG2
VCD SVCD（PBC オフ）

■再生中に

数字ボタンを押してチャプター番号またはトラック番号を選ぶ

約５分ごとに送る / 戻す

MPEG1 MPEG2

ファイル内を約５分の区切りで移動することができます。長時間のファイルの中を移動したいときに便利です。

■再生中に

◄ または ► を押す

・◄ または ► を押すごとに前後の区切りに移動します。区切りと区切りの間隔は約５分です。

お知らせ
・区切りは、ファイルの頭から順に自動的に割り振られます。
・移動できるのは同じファイルの中だけです。

メニューから選ぶ

DVD ビデオ　DVD オーディオ　VCD SVCD

■停止中または再生中に

1 [メニュー / プレイリスト] または [トップメニュー/プログラム]を押す

・ディスクのメニュー画面が表示されます。

2 ▲、▼、◄、► または数字ボタンを押して、再生するところを選ぶ

3 [決定] を押す

お知らせ

- メニュー画面が収録されているディスクで操作できます。
- VCD または SVCD のとき、手順 1 で [メニュー/プレイリスト] および [トップメニュー/ プログラム] が使えないことがあります。このようなときは [リターン] を 1、2 回押します。
- VCD または SVCD のとき、手順 2 で ▲、▼、◄ および ►が使えません。
- VCD または SVCD のメニュー画面に複数のページが用意されているときは [前 I◄◄] または [次 ►►I] を押してページを切り換えます。
- ディスクによっては手順 3 で [決定] を押さなくても再生が始まります。

DVD VR

■停止中または再生中に

1 オリジナルプログラムを表示したいときは [トップメニュー / プログラム] を、プレイリストを表示したいときは [メニュー / プレイリスト] を押す

オリジナルプログラム

プレイリスト

・プレイリストが収録されていないときは、表示されません。

2 ▲または▼を押して、再生したいタイトルを選ぶ

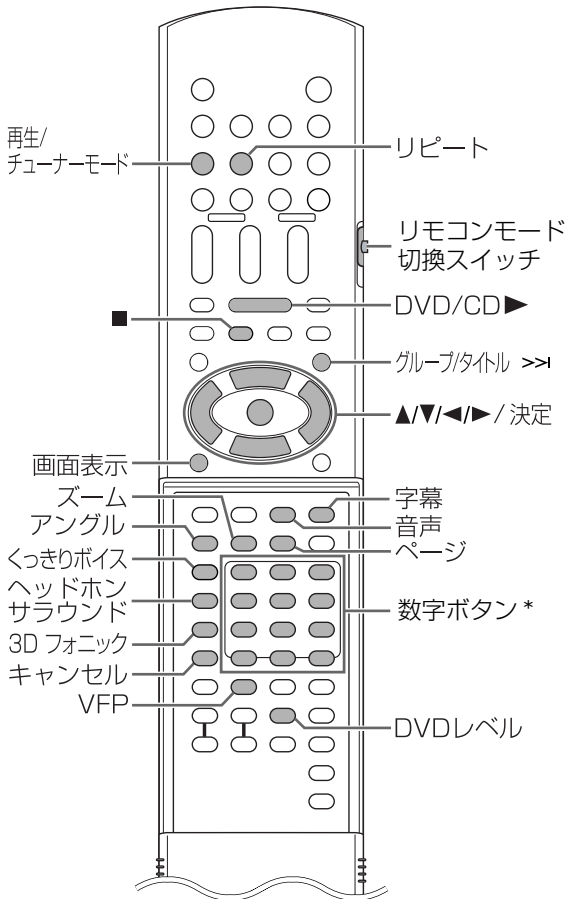
3 [決定] を押す

・手順 1 で [トップメニュー / プログラム] を押してオリジナルプログラムから選んだときは、選んだタイトルから連続して再生します。

・手順 1 で [メニュー/ プレイリスト] を押してプレイリストから選んだときは、選んだタイトルのみを再生します。

ディスク / ファイル再生の便利な機能

* 数字ボタンの使いかたは、19 ページの「数字ボタンの使いかた」をご覧ください。

■ 重要

・ リモコンモード切換スイッチを［オーディオ］側にしてください。

お好みの順番で再生する（プログラム再生）

DVD ビデオ　DVD オーディオ　VCD SVCD　CD　MP3 WMA　WAV（ディスクのみ）

最大 99 のチャプター / トラックをお好みの順番でプログラムできます。同じチャプター/トラックを何度もプログラムできます。

■停止中に

1 ［再生/チューナーモード］を押して、「PROGRAM」を選ぶ

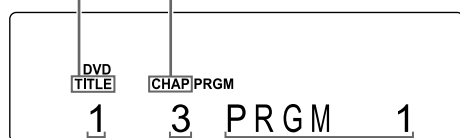
・誤って2回以上押したときは、くり返し押して「PROGRAM」を表示させてください。

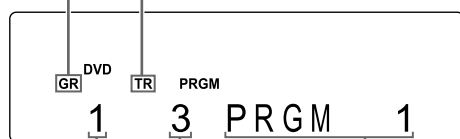
例 :DVD ビデオのときの表示

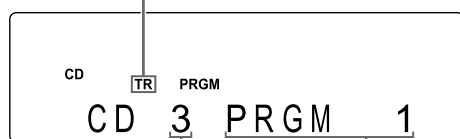
例 :DVD ビデオのときのテレビ画面（プログラム画面）

2　数字ボタンでチャプター / トラックをプログラムする

DVD ビデオのときの表示

・最初にタイトル番号を選び、次にチャプター番号を選びます。

DVD オーディオ /MP3/WMA/WAV ファイルのときの表示

・最初にグループ番号を選び、次にトラック番号を選びます。

VCD/SVCD/CD のときの表示

・トラック番号を選びます。
・トラックを選び終えると、プログラム再生の総時間が表示されます。

例：DVD ビデオのときのテレビ画面（プログラム画面）

・DVDオーディオのボーナスグループを選びたいときは、43 ページの「ボーナスグループを再生する」をご覧いただき、あらかじめ「BONUS」表示を消してください。
・最大 99 のチャプター / トラックをお好みの順番でプログラムできます。

お知らせ

・数字ボタンを使う代わりに、テレビ画面の「Track/Chapter」コラムで [決定] を押すと「ALL」が表示され、そのタイトル / グループに含まれるすべてのチャプター / トラックがプログラムされます。
・[キャンセル] をくり返し押すと、プログラムされたトラックをリストの最下からひとつずつ削除することができます。
・[キャンセル] を押し続けると、プログラムを一度にまとめて削除することができます。
・ディスクトレイを開けたときも、プログラムは一度に削除されます。

3　[DVD/CD ►] を押す

プログラムを確認する

■再生中に

■ を押す

・再生が停止され、プログラム画面がテレビに表示されます。

プログラム再生を解除する

■停止中に

[再生 / チューナーモード] をくり返し押して、「PROGRAM」以外の項目を選ぶ

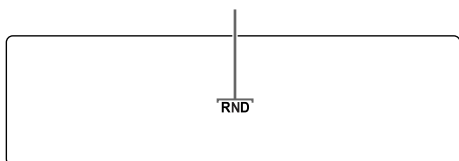
・この操作をしてもプログラム自体は消去されません。

無作為な順番で再生する（ランダム 再生）

DVD ビデオ　DVD オーディオ　VCD SVCD　CD
MP3 WMA　WAV（ディスクのみ）

■停止中に

1　[再生/チューナーモード]をくり返し押して、「RANDOM」を選ぶ

ランダム再生が有効なときに点灯します

2　[DVD/CD ►] を押す

お知らせ

・同じチャプターやトラックが２度再生されることはありません。

ランダム再生を解除する

■停止中に

[再生 / チューナーモード] をくり返し押して、「RANDOM」以外の項目を選ぶ

お知らせ

・ディスクを取り出してもランダム再生は解除されます。

くり返し再生する（リピート再生）

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　CD　MP3 WMA　WAV　JPEG
MPEG1 MPEG2
VCD SVCD（PBC オフ）

■再生中に

[リピート] を押す

・[リピート] を押すごとに、リピートの種類が切り換わります。

テレビ画面の表示	表示窓の表示（下部）	表示窓の表示（上部）	動作
TITLE	REPEAT TITLE	ALL	現在のタイトルをリピート
ALL または REPEAT ALL	REPEAT ALL	ALL	すべてのトラックをリピート *1
GROUP*2 または REPEAT GROUP	REPEAT GROUP*2	GR	現在のグループをリピート *3
CHAP*4	REPEAT CHAP*4		現在のチャプターをリピート
TRACK*4 または REPEAT TRACK	REPEAT TRACK*4		現在のトラックをリピート
OFF または表示なし	REPEAT OFF	―	リピートを解除

*1 プログラム再生中はプログラム全体をリピートします。
*2 DVD VR のオリジナルプログラム再生中は「PG」が、プレイリスト再生中は「PL」が表示されます。
*3 DVD VR のときは、現在のオリジナルプログラムまたはプレイリストをリピートします。
*4 プログラム再生中およびランダム再生中は「STEP」（ステップ）と表示されます。

お知らせ

・メニューバーで操作することもできます。（→ 44 ページ）
・A-B リピート再生を使うと、指定した範囲をくり返すこともできます。（→ 45 ページ）
・再生できないファイルがあるときはリピートモードは自動で解除されます。

音声 / 字幕 / アングル（角度）を切り換える

■再生中に

1 次の表中から使いたい機能のボタンを押す

機能	ボタン	操作できるディスク / ファイルの種類
音声言語	**[音声]**	DVD ビデオ DVD オーディオ DVD VR VCD SVCD
字幕言語	**[字幕]**	DVD ビデオ DVD VR SVCD DVD オーディオ（動画部のみ）
アングル	**[アングル]**	DVD ビデオ DVD オーディオ（動画部のみ）

例：字幕言語のときのテレビ画面

：音声言語
：字幕言語
：アングル

2 ▲または▼を押して、言語またはアングルの種類を選ぶ

お知らせ

- [字幕] をくり返し押すと、字幕の表示 / 非表示が切り換わります。
- [音声] または [アングル] をくり返し押しても、音声やアングルの種類は切り換わります。
- ディスク / ファイルに複数の言語、字幕、アングルの種類が入っているときに、いずれかを選ぶことができます。
- 「AA」「AB」といった言語コードが表示されるときは、49 ページの「言語コード一覧」をご覧ください。
- 音声、字幕、アングルの種類は、メニューバーで操作することもできます。44ページをご覧ください。
- VCD または SVCD のときに表示される「ST」「L」「R」はそれぞれ「ステレオ」「左の音声」「右の音声」の意味です。

画像を拡大する（ズーム）

DVD ビデオ DVD VR VCD SVCD JPEG MPEG1 MPEG2
DVD オーディオ（動画部のみ）

■再生中または一時停止中に

1 [ズーム] を押す

・押すごとに倍率が切り換わります。

2 ▲、▼、◄ または ► を押して、見たい部分を選ぶ

・通常の再生に戻したいときは、手順 1 で「ZOOM OFF」を選びます。

お知らせ

- JPEG ファイルをスライドショー再生しているときは操作できません。
- 画像を拡大すると、画質が劣化したり、歪んだりすることがあります。

画質を調節する（VFP）

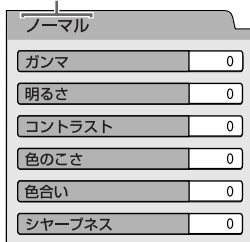
DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　JPEG　MPEG1 MPEG2

■再生中または一時停止中に

1　[VFP] を押す

・現在の設定がテレビ画面に表示されます。

例：VFP モードのテレビ画面

選択されている VFP モード

2　◄ または ► を押して VFP（Video Fine Processor）モードを選ぶ

・◄ または ► を押すごとに、次のように VFP モードは切り換わります。

-「ノーマル」
通常はこれを選びます。（調節はできません）手順7へ。

-「シネマ」
照明を落とした部屋で映画ソフトを鑑賞するのに向いています。（調節はできません）手順7へ。

-「ユーザー 1」「ユーザー 2」
お好みの画質に調節することができます。手順 3 へ。

3　▲または▼を押して、調節したい項目を選ぶ

・▲ または ▼ を押すごとに、次のように項目は切り換わります。

-「ガンマ」
画面の暗い部分と明るい部分の明るさを変えずに、中間の明るさを調節できます。
（調節範囲：−3 〜 +3）

-「明るさ」
画面の明るさを調節します。
（調節範囲：−8 〜 +8）

-「コントラスト」
画面のコントラストを調節します。
（調節範囲：−7 〜 +7）

-「色のこさ」
画面の色の濃さを調節します。
（調節範囲：−7 〜 +7）

-「色合い」
画面の色合いを調節します。
（調節範囲：−7 〜 +7）

-「シャープネス」
画面のシャープさを調節します。
（調節範囲：−8 〜 +8）

4　[決定] を押す

例：「ガンマ」選択時のテレビ画面

5　▲または▼を押して数値を変更する

6　[決定] を押す

・他の項目も調節したいときは、手順 3 に戻ります。

7　[VFP] を押す

お知らせ

・操作の途中で数秒間何も操作をしないと、それまでの変更が自動で設定されます。

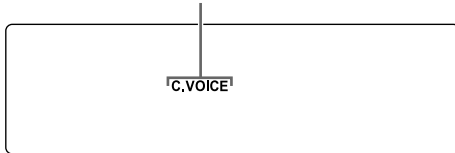
リモコンのボタンの位置は
36ページをご覧ください。

会話をはっきり聞く

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MP3 WMA　WAV　MPEG1 MPEG2

小さな音量でも、ディスク / ファイルに収録された会話を聞き取りやすくすることができます。映画を見るときに便利な機能です。

[くっきりボイス] を押す

くっきりボイスが有効なときに点灯します

- [くっきりボイス] を押すごとに、くっきりボイスの有効 / 解除が切り換わります。
- ディスクまたはUSB機器がソースとして選ばれているときに、くっきりボイスは使えます。
- K2 機能が有効なときにくっきりボイスを有効にすると、K2 機能は自動的に解除されます。

ヘッドホンサラウンドで聞く

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MP3 WMA　WAV

[PHONES] 端子に接続したヘッドホンでサラウンド感を楽しむことができます。
- ディスクまたは USB 機器がソースとして選ばれているときに、ヘッドホンサラウンドは使えます。

■ヘッドホンが [PHONES] 端子に接続されているとき

[ヘッドホンサラウンド] を押す

ヘッドホンサラウンドが有効なときに点灯します

- [ヘッドホンサラウンド] を押すごとに、設定が「HP SURR ON」または「HP SURR OFF」に切り換わります。
- K2 機能が有効なときにヘッドホンサラウンドを有効にすると、K2 機能は自動的に解除されます。

お知らせ

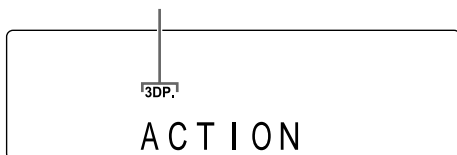
- [PHONES] 端子にはステレオミニプラグ付きのヘッドホン（市販品）を接続します。接続するとスピーカーから音が出なくなります。
- ヘッドホンサラウンドが有効に設定されているときに、ヘッドホンを接続すると「HP SURR ON」が表示されます。

サラウンド感を出す（3D フォニック）

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MP3 WMA　WAV

２本のスピーカーで擬似的にサラウンドの効果を得ることができます。

■再生中に

[3D フォニック] をくり返し押して、お好みの音響効果を選ぶ

- 「ACTION」は、アクション映画やスポーツ番組など音の移動が激しいソフトに最適です。
- 「DRAMA」を選ぶと、包まれるような自然な雰囲気によりリラックスして映画が楽しめます。
- 「THEATER」を選ぶと、劇場で映画を見ているような音響効果が楽しめます。
- 「3D PHONIC OFF」は 3D フォニックを解除します。（お買い上げ時の設定）

お知らせ

- 雑音が多いときや音が歪むときは、「3D PHONIC OFF」にしてください。
- K2機能が有効なときに3Dフォニックを有効にすると、K2 機能は自動的に解除されます。

DVDの音量レベルを切り換える

DVD ビデオ　DVD オーディオ

DVD ビデオ /DVD オーディオの音量が他のソースに比べて小さいことが気になるとき、調節することができます。

■再生中に

[DVD レベル] を押す

- 押すごとに「NORMAL」、「MIDDLE」または「HIGH」に切り換わります。
- 再生される音を聞きながら、お好みのレベルを選んでください。

DVD
DVD Lv NORMAL

DVD オーディオ固有の機能

DVD
オーディオ

ボーナスグループを再生する

DVD オーディオには、ボーナスグループと呼ばれる特別なグループを収録したものがあります。表示窓に「BONUS」表示が点灯しているときに操作できます。

■再生中に

1 [グループ / タイトル⏭] をくり返し押してボーナスグループを選ぶ

・テレビ画面と本体の表示窓に「KEY_ _ _ _」が表示されます。

2 数字ボタンを押して暗証番号（4 ケタ）を入力する

・暗証番号を知る方法は、ディスクによって異なります。

3 [決定] を押す

・正しい暗証番号を入力すると、「BONUS」表示が消え、ボーナスグループの再生が始まります。

・暗証番号を間違えたときは、もう一度正しい暗証番号を入力します。

静止画を見る（B.S.P.）

DVD オーディオには、B.S.P. （ブラウザブル スチル ピクチャー）と呼ばれる静止画が収録されているものがあります。お好みでページをめくるように、静止画を切り換えることができます。 表示窓に「B.S.P.」表示が点灯しているときに操作できます。

■再生中に

1 [ページ] を押す

・[ページ] を押すごとに、静止画が切り換わります。

・▲ または ▼ でも選べます。

2 [決定]を押すか、そのまま数秒間待つ

お知らせ

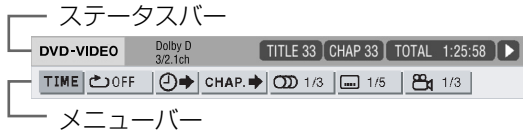
・ メニューバーで操作することもできます。
（→ 44 ページ）

メニューバーで操作する

DVD ビデオ　DVD オーディオ　DVD VR　VCD SVCD　CD　MPEG1 MPEG2

■再生中に

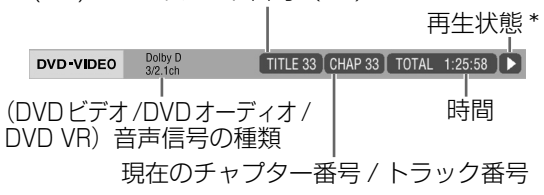
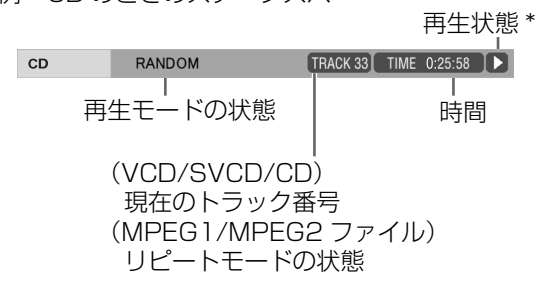
1　[画面表示] を 2 回押す

例：DVD ビデオのときのテレビ画面

2　◄ または ► を押して操作したい項目を選び、[決定] を押す

・メニューバーを消したいときは [画面表示] を押します。

ステータスバーに表示される情報

DVD ビデオ /DVD オーディオ /DVD VR
例：DVD ビデオのときのステータスバー

（DVD ビデオ /DVD オーディオ）
現在のタイトル番号 / グループ番号
（DVD VR）
現在のオリジナルプログラム番号（PG）/ プレイリスト番号（PL）

VCD/SVCD/CD/MPEG1/MPEG2 ファイル
例：CD のときのステータスバー

お知らせ

* 再生状態を示すマークは、オンスクリーンガイドのマークと同じ意味です。（→ 32 ページ）

機能一覧

特に操作説明のない機能については、▲ または ▼ で選択、[決定] で決定します。

項目	説明
TIME 時間表示選択	表示窓とステータスバーに表示される時間情報のモードの選択。[決定] を押すごとにモードが切り換わる。 **DVD ビデオ /DVD オーディオ（再生中の操作）** TOTAL ：タイトル / グループの経過時間 T.REM ：タイトル / グループの残り時間 TIME ：チャプター / トラックの経過時間 REM ：チャプター / トラックの残り時間 **DVD VR（再生中の操作）** TOTAL ：オリジナルプログラム / プレイリストの経過時間 T.REM ：オリジナルプログラム / プレイリストの残り時間 **CD（再生中の操作）/VCD/SVCD** TIME ：トラックの経過時間 REM ：トラックの残り時間 TOTAL ：ディスクの先頭からの経過時間 T.REM ：ディスクの残り時間
OFF リピートモード	38 ページをご覧ください。 （A-B リピート再生については、45 ページをご覧ください。）
タイムサーチ	45 ページをご覧ください。
CHAP. チャプターサーチ / トラックサーチ	**DVD ビデオ /DVD VR（チャプターサーチ）/DVD オーディオ（トラックサーチ）** チャプター / トラックを選ぶ。数字ボタンを押してチャプター / トラック番号を入力し、[決定] を押す。 **例：** 5：[5] 24：[2] → [4]
1/3 音声言語	**DVD ビデオ /DVD オーディオ /DVD VR/VCD/SVCD** 39 ページをご覧ください。
1/ 5 字幕言語	**DVD ビデオ /DVD オーディオ /DVD VR/SVCD** 39 ページをご覧ください。
1/3 アングル	**DVD ビデオ /DVD オーディオ** 39 ページをご覧ください。
PAGE -/- ページ切り換え	**DVD オーディオ** 43 ページをご覧ください。

指定した範囲をくり返し再生する（A-B リピート再生）

DVD ビデオ DVD オーディオ DVD VR CD VCD SVCD（PBC オフ）

始点（A ポイント）と終点を（B ポイント）を指定して、お好みの部分をくり返し聞くことができます。

■再生中に

1 [画面表示] を 2 回押す

・メニューバーが表示されます。(→44ページ)

2 ◄ または ► を押して、[OFF] を選ぶ

3 [決定] を押す

4 ▲ または ▼ を押して、「A-B」を選ぶ

5 くり返す範囲の始点で [決定] を押す（A ポイントの指定）

・メニューバーのアイコンが [A-] になります。

6 くり返す範囲の終点で [決定] を押す（B ポイントの指定）

・メニューバーのアイコンが [A-B] になります。

・「⊂」および「A-B」が点灯し、A-B ポイント間がくり返し再生されます。

A-B リピート再生を解除する

次の 2 つの方法があります。

- **■ を押す**
- **[OFF] を選ぶ（ [A-B] を選んで [決定] を 2 回押す）**

お知らせ

- タイトルやトラックをまたがる A-B リピート再生はできません。
- プログラム再生中、ランダム再生中、リピート再生中は、A-B リピート再生ができません。

時間を指定する（タイムサーチ）

DVD ビデオ DVD オーディオ DVD VR CD VCD SVCD（PBC オフ）

■再生中に

1 [画面表示] を 2 回押す

・メニューバーが表示されます。(→44ページ)

2 ◄ または ► を押して、[時計→] を選ぶ

3 [決定] を押す

4 数字ボタン（1 ～ 9、0）を押して時間を入力する

例：
DVD ビデオの（0 時間）23 分 45 秒から再生したいときは、数字ボタンを [0] [2] [3] [4] [5] の順に押す。

・分や秒の入力は省略できます。

・間違えたときは ◄ を押して数字を消去し、入力し直します。

5 [決定] を押す

・メニューバーを消したいときは [画面表示] を押します。

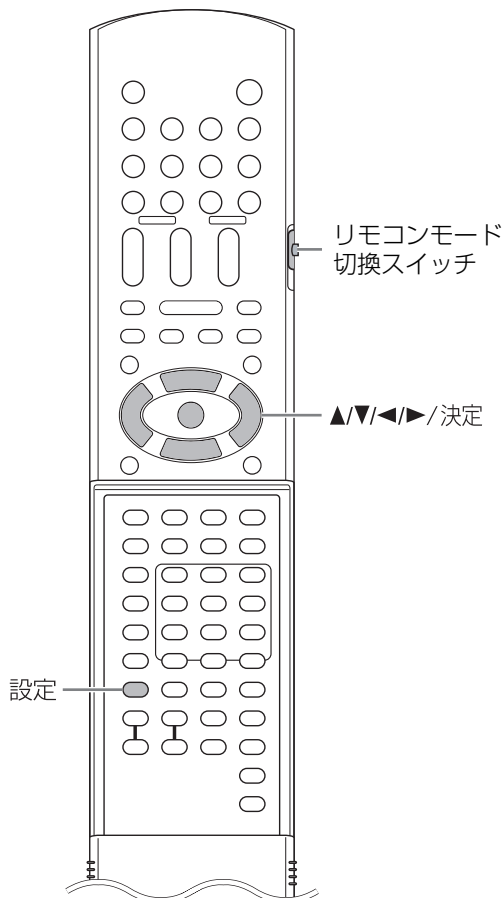
お知らせ

- プログラム・ランダム再生中はこの機能は働きません。
- CD はいつでも操作できます。
- DVD ビデオはタイトルの先頭から始まります。
- DVDオーディオは再生中のトラックの先頭から始まります。
- VCD、SVCD と CD でのタイムサーチは、次のようになります。
  - 停止中はディスクの先頭からの時間でのタイムサーチ
  - 再生中は、現在のトラック内でのタイムサーチ

各種設定

DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR VCD SVCD CD MP3 WMA WAV JPEG MPEG1 MPEG2

お買い上げ時の本機の設定を、お使いの環境に合わせて変更することができます。

■ 重要

・リモコンモード切換スイッチを［オーディオ］側にしてください。

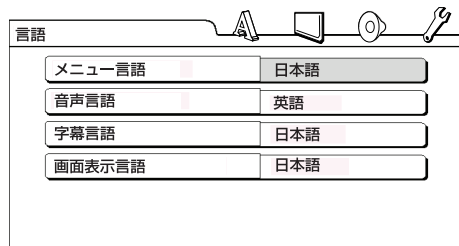
お知らせ

・ワイドテレビでは各種設定画面の上下が表示されないことがあります。テレビ側の設定で画像サイズを変更してください。

基本操作

■停止中またはディスクが入っていないとき（「NO DISC」表示中）

1 ［設定］を押す

・各種設定画面がテレビに表示されます。

2 ▲、▼、◀、▶ および［決定］を使って各種設定画面を操作する

・このあとはテレビ画面の説明にしたがって操作してください。

言語設定画面

設定項目	設定内容
メニュー言語	DVDビデオのメニューの言語を選びます。
音声言語	DVDビデオの音声の言語を選びます。
字幕言語	DVDビデオの字幕の言語を選びます。
画面表示言語	設定画面に表示される言語を選びます。

お知らせ

・選んだ言語がディスク/ファイルに収録されていないときは、最適な設定の言語で表示されます。
・「AA」「AB」といった言語コードが表示されるときは、49ページの「言語コード一覧」をご覧ください。

映像設定画面

設定項目	設定内容 (　　　がお買い上げ時の設定です)
TV タイプ	テレビに適した設定を選びます。 **パンスキャン：** 従来（4：3）のテレビ用。横長の映像は左右が切り取られます。(ディスクがパンスキャン非対応のときはレターボックス表示となります。) **レターボックス**： 従来（4：3）のテレビ用。横長の映像は上下に黒い帯が表示されます。 **16：9ノーマル：** 16：9の映像専用のワイドテレビ用。従来（4：3）の映像は左右に黒い帯が表示されます。 **16：9オート：** 映像の縦横比を自動認識するワイドテレビ用。映像の縦横比に応じて表示されます。 従来（4：3）の映像が入力されるとき 16：9の映像が入力されるとき

設定項目	設定内容 (　　　がお買い上げ時の設定です)
映像ソース	映像ソースに適した設定を選びます。 **オート**： 素材のタイプ（ビデオ / フィルム）を自動的に判別します。 **フィルム：** フィルム素材またはプログレッシブスキャン方式で記録されたビデオ素材の映像に適しています。 **ビデオ：** ビデオ素材の映像に適しています。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーの オン /オフを選びます。スクリーンセーバーは、静止画が表示されてから約 5 分操作がないときに動作します。
ファイルタイプ	1枚のディスクまたは1つの USB 機器に異なる種類のファイル（オーディオ / 静止画 / ビデオ）が複数記録されているときに、どの種類のファイルを再生するのかを選びます。 **オーディオ**： MP3/WMA/WAV ファイルを再生します。 **静止画：** JPEG ファイルを再生します。 **ビデオ：** MPEG1/MPEG2 ファイルを再生します。

音声設定画面

設定項目	設定内容 （　　　がお買い上げ時の設定です）
デジタルOUT	[ライン３デジタル出力] 端子に接続する機器に合わせて、出力信号の種類を次から選べます。49ページの「デジタルOUTの設定項目と出力信号の関係一覧」をご覧ください。 PCM のみ： リニア PCM のみに対応している機器。 **DOLBY DIGITAL/PCM：** ドルビーデジタルデコーダーまたは同機能を持つ機器。 **ストリーム /PCM：** DTS/ ドルビーデジタルデコーダーまたはこれらの機能を持つ機器。
ダウンミックス	[ライン３デジタル出力] 端子に接続する機器に合わせて、信号を切り換えます。「デジタル OUT」を「PCM のみ」にしているとき設定します。 **ドルビーサラウンド：** ドルビープロロジックデコーダー内蔵の機器。 ステレオ： 通常の機器。
D（ダイナミック）レンジコントロール	小音量で再生したとき、大きな音と小さな音の聞こえかたの差を補正します。（ドルビーデジタルで収録された DVD のみ） オート： D レンジコントロールが自動的に働きます。 **オン：** D レンジコントロールが常に働きます。

その他設定画面

設定項目	設定内容 （　　　がお買い上げ時の設定です）
リジューム	オン / オフを選びます。（→ 32 ページ）
オンスクリーンガイド	オン / オフを選びます。（→ 32 ページ）
AV コンピュリンクモード	弊社のテレビや AV アンプと連動させるとき、接続機器の端子に合わせて次から選びます。（→ 55 ページ「AV コンピュリンクを使う」） DVD1： テレビのビデオ３入力または AV アンプの DVD 入力に接続。 **DVD2：** テレビのビデオ 1 入力に接続。 **DVD3：** テレビのビデオ 2 入力に接続。

デジタル OUT の設定項目と出力信号の関係一覧

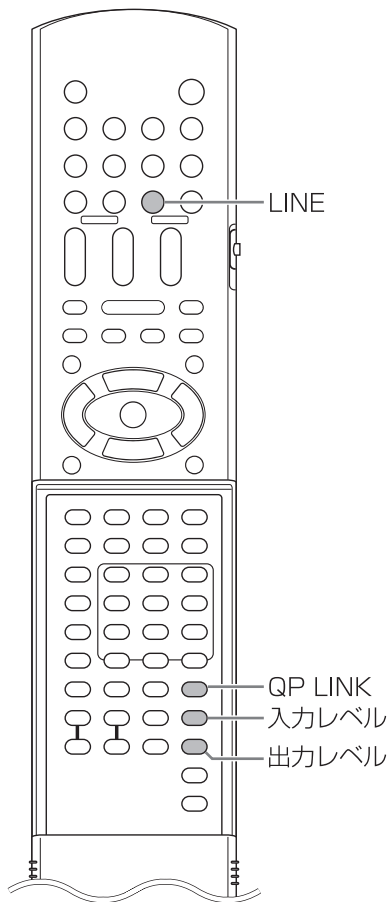
再生するディスク / ファイルの種類	「デジタル OUT」設定		
	ストリーム /PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCM のみ
48 kHz、16/20/24 ビットリニア PCM の DVD ビデオ 96 kHz リニア PCM の DVD ビデオ	48 kHz、16 ビットステレオのリニア PCM		
48/96/192kHz、16/20/24 ビットリニア PCM の DVD オーディオ	48kHz、16 ビットステレオのリニア PCM		
44.1/88.2/176.4kHz、16/20/24 ビットリニア PCM の DVD オーディオ	44.1kHz、16 ビットステレオのリニア PCM		
DTS の DVD ビデオ /DVD オーディオ	DTS ビットストリーム	48 kHz、16 ビットステレオのリニア PCM	
ドルビーデジタルの DVD ビデオ / DVD オーディオ	ドルビーデジタルビットストリーム		48 kHz、16 ビットステレオのリニア PCM
CD/VCD/SVCD	44.1 kHz、16 ビットステレオのリニア PCM 48 kHz、16 ビットのリニア PCM		
DTS の CD	DTS ビットストリーム	44.1 kHz、16 ビットのリニア PCM	
MP3/WMA/WAV/MPEG1/MPEG2 ファイル	32/44.1/48 kHz、16 ビットのリニア PCM		

お知らせ

・[ライン 3 デジタル出力] 端子について著作権保護の設定がされていない DVD ビデオでは、20 ビットまたは 24 ビットで出力されるものがあります。

言語コード一覧

コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語
AA	アファル語	GL	ガルシア語	ML	マラヤーラム語	SR	セルビア語
AB	アブハジア語	GN	グアラニ語	MN	モンゴル語	SS	シスワティ語
AF	アフリカーンス語	GU	グジャラード語	MO	モルダビア語	ST	セストゥ語
AM	アムハラ語	HA	ハウサ語	MR	マラータ語	SU	スンダ語
AR	アラビア語	HI	ヒンディー語	MS	マライ（マレー）語	SV	スウェーデン語
AS	アッサム語	HR	クロアチア語	MT	マルタ語	SW	スワヒリ語
AY	アイマラ語	HY	アルメニア語	MY	ミャンマー語	TA	タミール語
AZ	アゼルバイジャン語	IA	国際語	NA	ナウル語	TE	テルグ語
BA	バシキール語	IE	国際語	NE	ネパール語	TG	タジク語
BE	ベラルーシ語	IK	イヌピック語	NL	オランダ語	TH	タイ語
BG	ブルガリア語	IN	インドネシア語	NO	ノルウェー語	TI	ティグリニャ語
BH	ビハーリー語	IS	アイスランド語	OC	プロバンス語	TK	トゥルクメン語
BI	ビスラマ語	IW	ヘブライ語	OM	（アフォン）オロモ語	TL	タガログ語
BN	ベンガル語、バングラ語	JI	イディッシュ語	OR	オリヤー語	TN	セツワナ語
BO	チベット語	JW	ジャワ語	PA	パンジャブ語	TO	トンガ語
BR	ブルトン語	KA	グルジア語	PS	パシュトー語	TR	トルコ語
CA	カタロニア語	KK	カザフ語	PT	ポルトガル語	TS	ツォンガ語
CO	コルシカ語	KL	グリーンランド語	QU	ケチュア語	TT	タタール語
CY	ウェールズ語	KM	カンボジア語	RM	ラエティ - ロマン語	TW	トウィ語
DA	デンマーク語	KN	カンナダ語	RN	キルンディ語	UK	ウクライナ語
DZ	ブータン語	KO	韓国（朝鮮）語	RO	ルーマニア語	UR	ウルドゥー語
EL	ギリシャ語	KS	カシミール語	RW	キニヤルワンダ語	UZ	ウズベク語
EO	エスペラント語	KU	クルド語	SA	サンスクリット語	VI	ベトナム語
ET	エストニア語	KY	キルギス語	SD	シンド語	VO	ヴォラピュク語
EU	バスク語	LA	ラテン語	SG	サンド語	WO	ウォロフ語
FA	ペルシャ語	LN	リンガラ語	SH	セルボクロアチア語	XH	コーサ語
FI	フィンランド語	LO	ラオス語	SI	シンハラ語	YO	ヨルバ語
FJ	フィジー語	LT	リトアニア語	SL	スロベニア語	ZU	ズール語
FO	フェロー語	LV	ラトビア語、レット語	SM	サモア語		
FY	フリジア語	MG	マダガスカル語	SN	ショナ語		
GA	アイルランド語	MI	マオリ語	SO	ソマリ語		
GD	スコットランドゲール語	MK	マケドニア語	SQ	アルバニア語		

他のオーディオ機器の音声を聞く

他のオーディオ機器の音声を聞く

1　[LINE] を押す

・押すごとに、下記のように設定が切り換わります。

- 「LINE1」は、[LINE1 IN] 端子に接続している機器がソースとなります。
- 「LINE2」は、[ライン 2 入力] 端子に接続している機器がソースとなります。
- 「LINE3 DIGITAL」は、[ライン 3 デジタル入力] 端子に接続しているデジタルオーディオ機器がソースとなります。

2　接続している機器を再生する

3　お好みに応じて、本機の音量や音質を調節する

・２１ページをご覧ください。

お知らせ

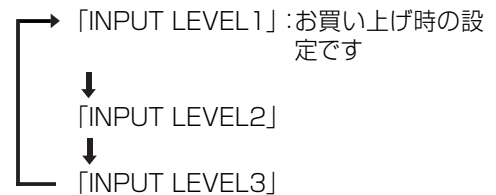
・ 接続している機器の取扱説明書もご覧ください。
・ [LINE1 IN] 端子につないだ機器の音声信号は [LINE1 OUT] 端子から出力されません。
・ [ライン 2 入力] 端子につないだ機器の音声信号は [ライン 2 出力] 端子から出力されません。
・ [ライン 3 デジタル入力] 端子につないだ機器の音声信号は [ライン 3 デジタル出力] 端子から出力されません。
・ [ライン 3 デジタル入力] 端子に機器が接続されていないとき、または接続されている機器の電源が入っていないときは、「LINE 3 DIGITAL」表示を選んでも「LINE 3 UNLOCK」表示に切り換わります。

他のオーディオ機器の音声入力レベルを調節する

[LINE1 IN]端子から本機に入力される音声レベルを調節できます。通常はお買い上げ時の設定のままお使いください。もしも音声が小さすぎたり大きすぎたりするときに、設定を変更してください。

1　[LINE] をくり返し押して、「LINE1」を選ぶ

2　[入力レベル] を押す

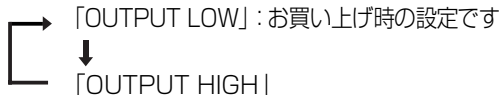
・[入力レベル] を押すごとに、下記のように設定が切り換わります。

・入力レベルは「INPUT LEVEL1」「INPUT LEVEL2」「INPUT LEVEL3」の順に下がります。

本機の音声出力レベルを調節する

[LINE1 OUT] 端子から他の機器に出力する音声レベルを調節できます。

[出力レベル] を押す

・[出力レベル] を押すごとに、下記のように設定が切り換わります。

「OUTPUT LOW」: お買い上げ時の設定です
↓
「OUTPUT HIGH」

・[LINE1 IN] 端子につないだ機器がソースのとき、この機能は使えません。

デジタルオーディオプレーヤーをすぐに聞く（QP LINK）

本体の電源が入っていないときや他のソースが選択されているときでも、[LINE1 IN] 端子に接続しているデジタルオーディオプレーヤーを再生すると、自動的に電源が入りデジタルオーディオプレーヤーがソースとして選択されます。この機能を QP LINK（quick portable link）と呼びます。

QP LINK を有効にする

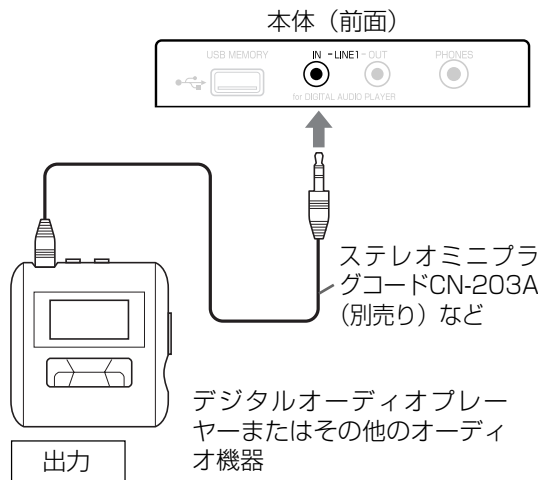
[QP LINK] をくり返し押して、「QP LINK ON」を選ぶ

・解除するときは「QP LINK OFF」を選びます。

QPL
QP LINK ON

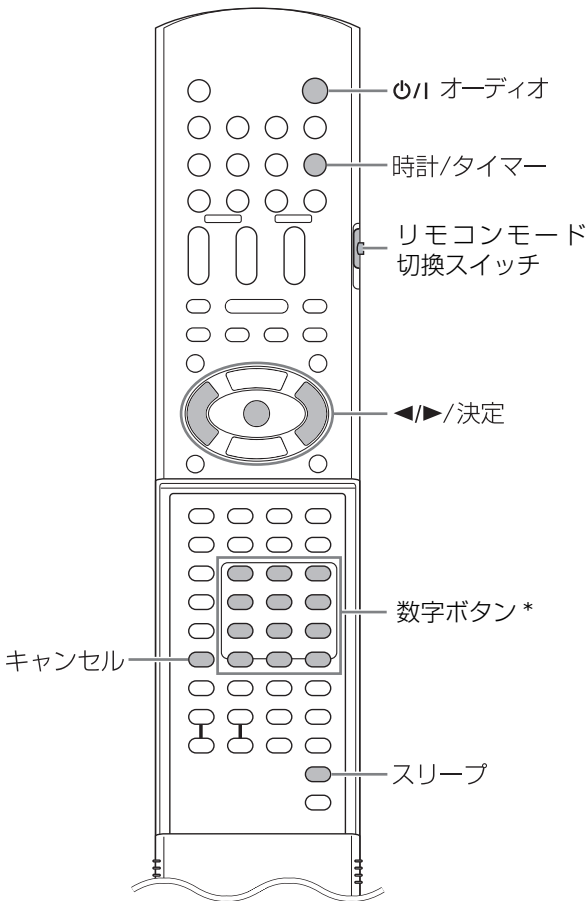
QP LINK を使う

■「QP LINK ON」選択時に

1 ステレオミニプラグコードでデジタルオーディオプレーヤーを [LINE1 IN] 端子に接続する

2 デジタルオーディオプレーヤーを再生する

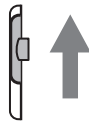
・本体の電源が切れていても、自動的に入ります。
・自動的に「LINE1」が表示され、デジタルオーディオプレーヤーからの音声が出ます。
・「DISPLAY OFF」選択時は、QP LINK は働きません。（→ 23 ページ）

お知らせ

・QP LINK は「QPL」が点灯しているときに働きます。
・「QP LINK ON」にしていても「QPL」が消灯しているときがあります。たとえば手順２のあと再生を停止し、本機のソースを切り換えた直後３０秒間などです。ただし、このときでもステレオミニプラグコードを接続し直せば QP LINK が働きます。

タイマー

* 数字ボタンの使いかたは、19 ページの「数字ボタンの使いかた」をご覧ください。

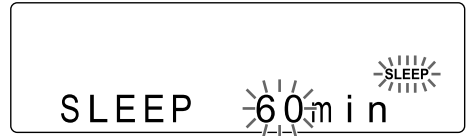
■ 重要

・ リモコンモード切換スイッチを［オーディオ］側にしてください。

スリープタイマー

設定した時間が経過すると自動的に電源が切れます。

［スリープ］を押す

・ 押すごとに、時間表示が切り換わります。(単位:分)

例 :スリープ時間を 60 分にしたときの表示

数秒後にスリープ時間が自動で設定され、下段の「SLEEP」表示が消えます。このとき上段の「SLEEP」表示は点灯したままです。

お知らせ

・ スリープタイマーを設定すると自動で表示窓が暗くなります。
・ ソースが「USB MEMORY」のときに USB 機器を充電できます。スリープタイマーを設定しておけば、ご不在中も充電することができて便利です。

スリープ時間を変更する

もう 1 度、［スリープ］をくり返し押してスリープ時間を選び直す

スリープ時間を確認する

スリープタイマーが設定された状態で、［スリープ］を 1 回押す

スリープ時間を解除する

「SLEEP OFF」が表示されるまで、［スリープ］をくり返し押す

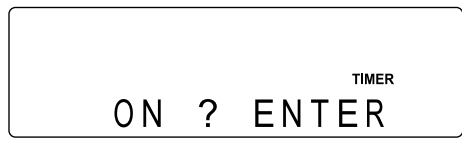
お知らせ

・ 電源を切ったときもスリープタイマーは解除されます。

再生タイマー

あらかじめ時計を合わせておいてください。
(→ 20 ページ)

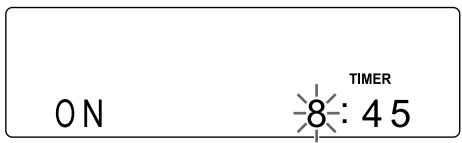
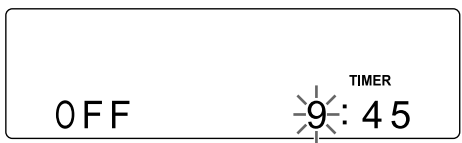
1 [時計 / タイマー] を押す

TIMER
OFF? CANCEL

・誤って [時計 / タイマー] を2、3回押してしまったときは、[時計 / タイマー] をくり返し押して上記の表示を選んでください。

2 [時計 / タイマー] を押す

3 ◄ または ► を押して開始時刻と終了時刻を選び、[決定] を押す

例：

開始時刻を８時４５分に設定するときの表示

終了時刻を９時４５分に設定するときの表示

・◄ または ► を押して時刻を選び、[決定] を押して確定します。

・◄または►の代わりに数字ボタンも使えます。

4 ◄ または ► を押して「ONCE」または「WEEKLY」を選び、[決定] を押す

ONCE　1 回だけ動作します。
WEEKLY　毎週または毎日動作します。

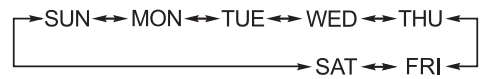
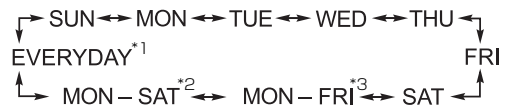
5 ◄ または ► を押して動作させたい曜日を選び、[決定] を押す

・◄ または ► を押すごとに、次のように切り換わります。

「ONCE」を選んだとき

SUN ↔ MON ↔ TUE ↔ WED ↔ THU ↔ FRI ↔ SAT ↔ SUN

「WEEKLY」を選んだとき

SUN ↔ MON ↔ TUE ↔ WED ↔ THU ↔ FRI ↔ SAT ↔ MON – FRI*3 ↔ MON – SAT*2 ↔ EVERYDAY*1 ↔ SUN

*1 毎日動作します。
*2 月曜日から土曜日まで動作します。
*3 月曜日から金曜日まで動作します。

6 ◄ または ► を押して再生したいソースを選び、[決定] を押す

・「FM」または「AM」を選んだときは、◄、► または数字ボタンを押して聞きたい放送局のプリセット番号を選び、[決定] を押します。

7 ◄ または ► を押して再生する音量を選び、[決定] を押す

・数字ボタンで音量を選ぶこともできます。

・表示窓に設定内容が表示されます。

(次ページへつづく)

8 [⏻/I オーディオ] を押して本体の電源を切る

再生タイマーが設定されているときに点灯します

・タイマーは本体の電源が切れているときのみ動作します。

お知らせ

- 手順３で設定した開始時刻の少なくとも１分前までに電源を切ってください。
- 操作の途中で、[キャンセル] を押すと前の手順に戻ることができます。[時計 / タイマー] を押すと操作を中止することができます。
- 再生が始まると、音量は徐々に大きくなり設定した音量になります。
- プログラム再生 / ランダム再生 / リピート再生との組み合わせで、様々な再生を設定することができます。（→ 36 ～ 38 ページ）
- ソースが「LINE1」のときに「QP LINK ON」を設定しているときは、電源が入っているときでも再生タイマーは動作します。（→ 51 ページ）

再生タイマーを解除する

1 [時計 / タイマー] を押す

2 [キャンセル] を押す

お知らせ

- タイマーが解除されても、設定内容は残ります。

再生タイマーを同じ内容で再設定する

1 [時計 / タイマー] を押す

2 [決定] を押す

・表示窓に設定内容が表示されます。

3 [⏻/I オーディオ] を押して本体の電源を切る

お知らせ

- 電源コードを抜いたり、停電があったときは、時計と再生タイマーの設定が消えることがあります。このようなときは、時計とタイマーをもう一度設定し直してください。

再生タイマーの設定内容を確認する

1 [時計 / タイマー] を押す

2 [決定] を押す

- 設定内容の表示は２秒ごとに切り換わります。

再生タイマーの設定内容を変更する

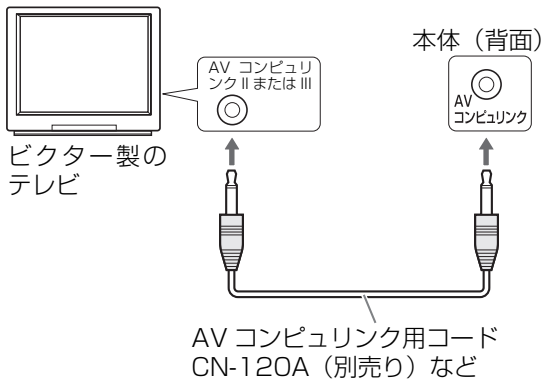
- ５３ページの手順１からもう一度設定し直してください。

AV コンピュリンクを使う

ビクター製で AV コンピュリンクⅡまたはⅢ端子を持つテレビを本体に接続すると、一方の機器の操作に連動して他方の機器を動作させることができます。

AVコンピュリンクの接続と設定

お知らせ

・ビクター製のテレビには「AV コンピュリンク」と表記された端子を持つものがあります。この端子は本機の [AV コンピュリンク] 端子や AV コンピュリンクⅡまたはⅢ端子と同じものです。
・「AV コンピュリンクモード」の設定は、48 ページの「その他設定画面」をご覧ください。
・接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。

テレビの入力端子	「AV コンピュリンクモード」の設定
ビデオ 1 のとき	DVD2
ビデオ 2 のとき	DVD3
ビデオ 3 のとき	DVD1

・ビデオ 2 またはビデオ 3 端子につないでも、テレビによっては AV コンピュリンクが働かないことがあります。

AV コンピュリンクを操作する

1 テレビの主電源を入れる

2 ディスク / ファイルを再生する

・26 ～ 28 ページをご覧ください。
・テレビの電源が入ります。
・テレビの入力がビデオ 1、ビデオ 2 またはビデオ 3（DVD）に切り換わります。

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。
・ 湿気やほこりの多い所
・ バランスの悪い不安定な所
・ 熱器具の近く
・ けい光灯のすぐそば
・ 風通しの悪い狭い場所
・ 直射日光の当たる所
・ 極端に寒い所
・ 振動の激しい所
・ テレビ、アンプまたはチューナーのすぐそば
・ 磁場のすぐそば

ご注意

・ 本機の使用環境温度は、5℃ ～ 35℃ です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

露 / 水滴がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露や水滴が付いて正しく再生できない場合があります。
・ 暖房を始めた直後
・ 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
・ 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき
このようなときは、電源を入れたまま約 1 ～ 2 時間待ってからご使用ください。

本機の掃除

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意

・ シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふかないでください。また、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ディスクトレイの掃除

ディスクトレイの清掃は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を使って、表面を傷つけないように、汚れを軽く拭き取ってください。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

商標と著作権

・本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
・DTS は DTS 社の登録商標です。DTS 2.0 + Digital Out は DTS 社の商標です。
・本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、マクロビジョン社やそのほか権利者が米国などで特許等の知的財産権を所有しており、この技術を使用する際にはマクロビジョン社のライセンスが必要となります。マクロビジョン社が認めない限り、家庭をはじめとする限られた範囲での視聴目的以外にはこの技術の使用はできません。また、改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
・ ディスクを著作権者に無断で複製したり、放送、上映、演奏、レンタルすることは、法律により禁止されています。DVD ビデオのロゴは商標です。
・Microsoft、Windows Media は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ディスク / ファイルについて

再生できるディスク / ファイル

再生できるディスク *1	DVD ビデオ、DVD オーディオ、DVD VR*3、VCD、SVCD、CD、CD-R*4、CD-RW*4、DVD-R*5 *6、DVD-RW*6、+R、+RW
再生できるファイル（ディスクの場合）*1	MP3、WMA、WAV、JPEG、MPEG1、MPEG2
再生できるファイル（USB 機器の場合）*2	

・上記の種類でも再生できないことがあります。
*1 ディスクはすべてファイナライズ処理されている必要があります。
*2 USB 機器によっては、本機が認識できないことがあります。2 ギガバイトを超える容量で転送レートが 2Mbps 以上のファイルは再生できません。
*3 DVD VR はビデオレコーディング（VR）形式で記録された DVD-R および DVD-RW のことです。
*4 マルチセッションで記録された CD-R/CD-RW は最大 20 セッションまで再生可能です。
*5 マルチボーダーで記録された DVD-R も再生可能です（デュアルレイヤーディスクを除く）。
*6 DVD-R/DVD-RW は、UDF ブリッジで記録されたファイルのみ再生可能です。

DVD ビデオフォーマットで録画し、ファイナライズされた+R/+RWディスクが再生できます。本体表示窓には「DVD」と表示します。

傷、汚れ、反り、記録状態、記録条件が原因で、ディスクが再生できないことがあります。

次のディスクは音声のみ再生できます。
MIX-MODE CD　CD-G
CD-EXTRA　CD TEXT

DVD ビデオのリージョン番号
リージョン番号とは国や地域ごとに割り当てられた番号です。本機のリージョン番号は「2」です。「2（2を含む）」または「ALL」と表示された DVD ビデオのディスクに限り再生できます。

例：

リージョン番号が異なる DVD ビデオを入れても再生されません。
・DVD ビデオ、DVD オーディオ、VCD、SVCD のなかには、この取扱説明書での説明と異なる操作方法のものもあります。これはディスク / ファイル制作者の意図によるもので、本機の故障ではありません。

CD-R/CD-RW および DVD-R/DVD-RW ディスクについて

・ディスクの特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
・ディスクをお使いになる前に、それぞれのディスクの使用上のご注意をよくお読みください。
・CD テキストの表示には対応しておりません。
・上記以外のフォーマットで記録したことのある CD-RW、DVD-RW ディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。

再生できないディスク

・次のディスクは再生できません。
・DVD-ROM（MP3/WMA/JPEG/MPEG1/MPEG2 フォーマットは除く）、DVD-RAM、CD-ROM、CD-I（CD-I Ready）、Photo CD、SACD
・誤って再生するとスピーカーなどの機器を破損することがあります。
・破損したディスク、特殊な形状（直径 12 または 8 センチの円形以外）のディスクも再生できません。
・本機では、CD 規格（CD-DA）に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CD を再生する際には、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

再生できる MP3/WMA/WAV/JPEG/MPEG1/MPEG2 ディスクおよびファイル

・ISO9660 フォーマットで記録されている CD（パケットライト（UDF フォーマット）形式で記録された CD は不可）。
・「.mp3」、「.wma」、「.wav」、「.jpg」、「.jpeg」、「.mpg」、「.mpeg」または「.mod」の拡張子がついたファイル（大文字と小文字が混在した拡張子も可）。

MP3/WMA/WAV/JPEG ディスクおよびファイルについて

・ディスクの記録状態や特性により再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
・ディスクに記録されているグループやトラック（ファイル）の数によって、読み取り時間が異なります。
・MP3/WMA/WAV/JPEG ファイルのファイル名に半角英数字とカタカナ以外の文字が使われていると、トラック / ファイル名が正しく表示されません。
・MP3/WMA/WAV/JPEG デイスクのメニュー画面に表示されるトラック / グループの順序、およびファイル / グループの順序は、パソコンの画面に表示されるファイル / フォルダの順序と異なることがあります。
・静止画を含んだ MP3/WMA ファイルは再生に時間がかかることがあります。再生が始まるまで経過時間は表示されません。また、正確な経過時間が表示されないことがあります。
・MP3/WMA ファイルは、サンプリング周波数 44.1kHz、転送レート 128kbps で作成されたディスクを推奨します。
・MP3i および MP3PRO ファイルには対応していません。
・本機ではベースライン方式の JPEG ファイルが再生できます。モノクロの JPEG ファイルは再生できません。
・本機では DCF（Design rule for Camera File System）規格準拠のデジタルカメラで撮影した JPEG データが表示できます（デジタルカメラの自動回転機能などを使用した場合、DCF 規格にあてはまらないデータとなり、画像が表示されないことがあります）。
・パソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。
・MOTION JPEG ファイルなどの動画や JPEG ファイル以外の静止画（TIFF など）および音声付き画像は再生できません。
・JPEG ファイルの解像度は「640 ピクセル× 480 ピクセル」をお勧めします。それ以上の解像度では表示に時間がかかることがあります。また、「8192 ピクセル× 7680 ピクセル」を超える画像は表示できません。
・ WAV ファイルは、サンプリング周波数 44.1 kHz、量子化ビット数１６ bit を推奨します。

MPEG1/MPEG2 ディスクおよびファイルについて

・ストリーム構造はMPEGシステムストリーム規格またはMPEGプログラムストリーム規格に合致している必要があります。
・最大解像度は「720 ピクセル× 576 ピクセル」(25fps) および「720 ピクセル× 480 ピクセル」(30fps) をお勧めします。
・「352 × 576」「480 × 576」「352 × 288」(25fps)および「352 × 480」「480 × 480」「352×240」(30fps)の解像度も推奨します。
・プロファイルとレベルは、MP@ML (Main Profile at Main Level)、SP@ML (Simple Profile at Main Level) または MP@LL (Main Profile at Low Level)である必要があります。
・オーディオストリームは、MPEG1 Audio Layer-2、MPEG2 Audio Layer-2 またはドルビーデジタル (MPEG2 ファイルのみ) 規格に合致している必要があります。

USB 機器について

・本機は USB 2.0 フルスピード規格に対応しています。
・USB 機器やファイルのなかには、本機で再生できないものがあります。
・DRM (デジタル著作権管理) ファイルは再生できません。
・定格が電圧5V/消費電流500mAを超えるUSB機器は、本機では認識できません。
・接続するときは、USB 機器の取扱説明書もご覧ください。
・接続に USB ケーブルを使うときは 1 m 以下のものにしてください。
・USB 機器と本体は、USB ハブを経由せず、直接つないでください。
・USB機器は本機が停止状態または電源が切れた状態で外してください。
・ソースが「USB MEMORY」のとき、USB 機器を充電できます。
・本機からUSB機器に録音することはできません。
・USB 機器を接続したり外したりするときは、本機の音量を最小にしておいてください。
・本機の故障または不測の事態により、USB 機器のデータが失われてしまったために発生した損害などの補償についてはご容赦ください。

マルチチャンネル音声について

本機はマルチチャンネル音声をダウンミックスして本機の 2 つのスピーカーまたはヘッドホンで再生します。

テレビ方式について

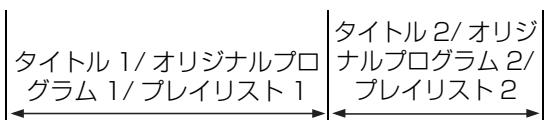
本機は日本やアメリカなどのテレビ方式であるNTSC に適合しています。NTSC 以外のテレビ方式 (PAL 等) 用の DVD/ ビデオ CD も、NTSC 方式に変換して再生できます。(ただし、ディスクによっては映像がコマ送りになり、画面の縦横の比率が変わるなど、正しく再生されないことがあります)

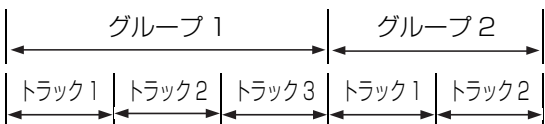
・DVD ビデオ /DVD オーディオ、VCD および、SVCD は、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生しますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。
・本機では、CD 規格 (CD-DA) に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
CD を再生する際には、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、C D 規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

ディスク / ファイルの構成

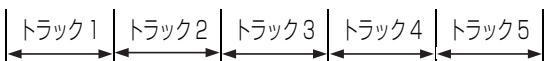
DVD ビデオ /DVD VR

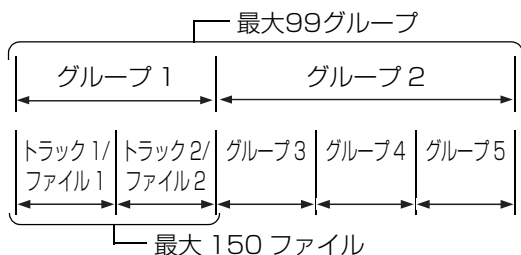
DVD ビデオは、「タイトル」と呼ばれる大きな単位と、タイトルに含まれる「チャプター」と呼ばれる小さな単位で構成されています。
DVD VR は、「オリジナルプログラム」または「プレイリスト」と呼ばれる大きな単位と、オリジナルプログラム / プレイリストに含まれる「チャプター」と呼ばれる小さな単位で構成されています。

タイトル 1/ オリジナルプログラム 1/ プレイリスト 1
タイトル 2/ オリジナルプログラム 2/ プレイリスト 2
チャプター 1　チャプター 2　チャプター 3　チャプター 1　チャプター 2

DVD オーディオ

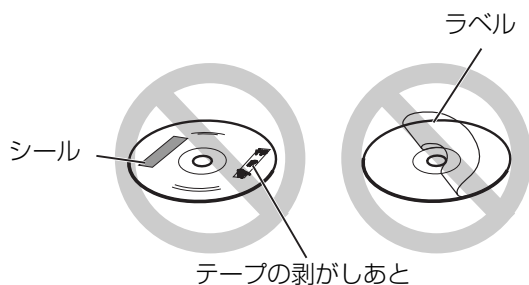
DVD オーディオは、「グループ」と呼ばれる大きな単位と、グループに含まれる「トラック」と呼ばれる小さな単位で構成されています。
DVD オーディオには、「ボーナスグループ」と呼ばれる特別なグループを収録したものがあり、再生にはパスワードが必要です。（→ 43 ページ）

VCD/SVCD/CD

VCD/SVCD/CD は、「トラック」と呼ばれる単位で構成されています。
通常それぞれのトラックに番号がついています。（VCD/SVCD/CD には、トラックが「インデックス」で区切られたものがあります。）

トラック 1　トラック 2　トラック 3　トラック 4　トラック 5

MP3/WMA/WAV/JPEG/MPEG1/MPEG2 ファイル

MP3/WMA/WAV/JPEG/MPEG1/MPEG2 ファイルには、音声、静止画、映像がトラックまたはファイルとして記録されています。トラック/ファイルは通常フォルダーにまとめられています。フォルダーはまた別のフォルダに含むことができ、フォルダ階層を構成します。
本機では記録されたフォルダ階層を「グループ」として管理します。

本機はディスク 1 枚あたり 4000 のトラック / ファイルを認識します。また、グループ 1 つあたり 150 のトラック / ファイル、ディスク 1 枚あたり 99 のグループを認識します。150 を超えるファイル / トラックおよび 99 を超えるグループは認識されず、再生できません。
MP3/WMA/WAV/JPEG/MPEG1/MPEG2 ファイル以外のファイルがディスクに含まれているときは、これらも総ファイル数に計上されます。

ディスクの取り扱い

- 特殊な形状のディスクを使用しないでください（ハート型、花形、クレジットカード型など）。故障の原因となります。
- ディスクにテープやシールなどを貼ったり、字を書いたりしないでください。
- ディスクは曲げないでください。

ディスクの掃除

指紋やほこりは、内側から外側へ柔らかい布で拭いてください。ディスクの円周方向には拭かないでください。

連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジンなどの溶剤は使わないでください。

故障かな？と思ったら

■総合

症状	原因	処置	参照ページ
電源が入らない。	電源コードがコンセントから抜けている。	電源コードをコンセントにしっかり差し込んでください。	18
各ボタンの操作ができない。	ディスクによっては、特定の操作が禁止されていることがあります。	故障ではありません。	—
リモコンが働かない。	乾電池が消耗している。	乾電池を交換してください。	10
リモコンで本体を操作できない。	リモコンモード切換スイッチが[テレビ]側になっている。	リモコンモード切換スイッチを[オーディオ]側にしてください。	19
雑音がする。	テレビ、パソコンなどの電気機器の近くに本体が置かれている。	テレビ、パソコンなどの電気機器から本体を離してください。	56
突然再生が始まる。	QP LINK が働いている。(故障ではありません。)	必要に応じて QP LINK を解除してください。	51
映像が出ない。	正しく接続されていない。	すべてのコードを正しく接続してください。	14
映像が乱れる。	本体とテレビの間に、ビデオデッキを接続している。	本体とテレビを直接接続してください。	14
	映像信号方式が正しく設定されていない。	テレビに適した設定を選んでください。	15
画面サイズがおかしい。	画面サイズが正しく設定されていない。	テレビに適した設定を選んでください。	47
テレビ画面が暗くなる。	スクリーンセーバーが働いている。	いずれかのボタンを押してください。	—
音声が出ない。	スピーカーコードが正しく接続されていない。	スピーカーコードを正しくを接続してください。	13
	ヘッドホンが接続されている。	ヘッドホンを抜いてください。	41
	消音機能が働いている。	消音機能を解除してください。	21
	表示窓に「NO AUDIO」と表示されるときは、不正なディスクである可能性があります。	ディスクをお買い上げになったお店で確認してください。	—
テレビにくらべて音声が小さい。	低いレベルで音声が収録されている。(DVDビデオ/DVDオーディオのみ)	音声レベルを切り換えてください。	42
音がひずむ。	音量を上げすぎている。	音量を下げてください。	21
ラジオ受信中に雑音が入る。	アンテナが正しく接続されていない。	アンテナを正しくを接続してください。	12
ラジオが受信できない。			

■ソースがディスクのとき

症状	原因	処置	参照ページ
再生できない。	テレビ画面に「リージョンコードエラー！」と表示されるときは、ディスクのリージョン番号が本機と対応していません。(DVD ビデオのみ)	ディスクのリージョン番号を確認してください。(「2（2 を含む）」または「ALL」以外のディスクは再生できません。)	57
	テレビ画面に「このディスクは再生できません」と表示されるときは、本機で再生できるディスクではありません。	本機で再生できるディスクの種類を確認してください。	57
	ディスクを表裏逆に入れてしまっている。	文字のある面を上にしてディスクをディスクトレイに置いてください。	26
	本体内部のレンズに露や水滴が付いている。	電源を入れたまま約 1 ～ 2 時間待ってからご使用ください。	56
音声言語 / 字幕言語 / アングルが切り換えられない。	ディスクに複数の音声言語 / 字幕言語 / アングルが収録されていない。	音声言語 / 字幕言語 / アングルがひとつしか収録されていないディスクでは切り換えはできません。	39
字幕が出ない。	ディスク / ファイルに字幕が収録されていない。	字幕が収録されていないディスク / ファイルでは、字幕は表示できません。	39
	字幕言語が選択されていない。	字幕言語を選択してください。	39
表示窓に「LR ONLY」が表示される。(DVD オーディオのみ)	マルチチャンネル音声で、ダウンミックスが禁止されているトラックを再生しているため、左右の音声がそのまま出力されている。	故障ではありません。	—
一部の箇所が正しく再生されない。	ディスクにキズや汚れがある。	ディスクを掃除するか、ほかのディスクと交換してください。	60
MP3/WMA/WAV/JPEG/MPEG1/MPEG2 ファイルが再生できない。	ディスクに異なる種類のファイルが複数記録されている(MP3/WMA/WAV/JPEG/MPEG1/MPEG2)。	「ファイルタイプ」を選んでください。「ファイルタイプ」で選んだ種類のファイルのみが再生できます。「ファイルタイプ」を選ぶ前にファイルが読み込まれてしまったときは、「ファイルタイプ」を選び直してからディスクを入れ直してください。	47
ディスクが取り出せない。	チャイルドロックが働いている。	チャイルドロックを解除してください。	23

■ソースが USB 機器のとき

症状	原因	処置	参照ページ
USB 機器に記録されたファイルが再生できない。	テレビ画面に「このデバイスは再生できません」と表示されるときは、本機に対応した USB 機器ではありません。	本機に対応した USB 機器を使用してください。	57
MP3/WMA/WAV/JPEG/MPEG1/MPEG2 ファイルが再生できない。	USB 機器に異なる種類のファイルが複数記録されている（MP3/WMA/WAV/JPEG/MPEG1/MPEG2）。	「ファイルタイプ」を選んでください。「ファイルタイプ」で選んだ種類のファイルのみが再生できます。「ファイルタイプ」を選ぶ前にファイルが読み込まれてしまったときは、「ファイルタイプ」を選び直してから USB 機器を接続し直してください。	47

上記の処置をしても正しく動作しないときは
本機はマイコンの働きで多くの動作を行なっております。万一、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、電源コードをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。

お願い
本機の故障または不測の事態により、ディスクや USB 機器の再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

この機器の補修用性能部品の
最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ご転居等で、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、「ビクターサービス窓口案内」（65 ページ）をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

出張修理

61 ～63 ページの「故障かな？と思ったら」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したディスクなどのメディアもご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品について、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	コンパクトコンポーネントシステム
型　名	EX-A3/EX-A3LTD
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　－

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

■この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 25-2533	旭川市5条通17丁目1439番地1
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.S.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
関東・甲信越			
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(027)255-5982	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第2棟1F
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(028)635-2938	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(029)246-0590	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.C.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	大田 S.C.	(03) 5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子 S.C.	(042) 646-6914	八王子市石川町2969番の2 日本ビクター（株）八王子工場 第4棟
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	ENGサポートセンター24 受付グループ	(03) 5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区大成町4-503
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045)450-6211	横浜市神奈川区新浦島町1-1-25 テクノウェイブ100ビル1F
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	海老名 S.C.	(046)234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(055)227-5773	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(025)241-4003	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市中央区鐙1丁目5-23
長野	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(026)221-7607	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1F
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市東区北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市六条北四丁目8-10今尾ビル103号室
三重	三重 S.S.	(059) 352-0841	四日市市堀木2-15-2
北陸			
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市問屋町47番地市場ハイツA1F ウチノ電子株式会社内
大阪 奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市北区百舌鳥梅町3丁21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫 中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区浜辺通2丁目1-30三宮国際ビル1F
兵庫 西部	姫路 S.S.	(079) 234-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.S.	(083) 973-3708	山口市小郡花園町5-28
島根	松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 665-9601	徳島市川内町榎瀬673
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
九州・沖縄			
福岡 佐賀	福岡 S.C.	(092)707-0500	福岡市博多区沖浜町11番10号 サンイースト福岡1F
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.S.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.S.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0707

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

主な仕様

本体（CA-EXA3/CA-EXA3LTD）

チューナー
FM 周波数： 76.00 MHz － 108.00 MHz
AM 周波数： 531 kHz － 1629 kHz

接続端子（本体前面）
- USB デジタル入力端子 x 1
- アナログ音声入力端子 x 1
  ステレオミニジャック
- アナログ音声出力端子 x 1
  ステレオミニジャック
- 音声出力ヘッドホン端子 x 1
  インピーダンス：16 Ω － 1 kΩ

接続端子（本体背面）
- 映像出力端子 x 1
  Y 出力：1.0V（p-p）/75 Ω、同期負
- S1/S2 映像出力端子 x 1
  Y 出力：1.0V（p-p）/75 Ω、同期負
  C 出力：0.286V（p-p）/75 Ω、同期負
- D2 映像出力端子 x 1
  Y 出力：1.0 V（p-p）/75 Ω
  C_B： 0.7 V（p-p）/75 Ω
  C_R： 0.7 V（p-p）/75 Ω
- 音声出力サブウーハー端子 x 1
  500mVrms/10kΩ
- 光デジタル出力端子 x 1
  –23 dBm － 15 dBm
- 光デジタル入力端子 x 1
  –23 dBm － 15 dBm
- AV コンピュリンク端子 x 1
- 音声出力端子（2）x1
  500mV/47kΩ
- 音声入力端子（2）x 1
  500 mV/47 kΩ
- FM アンテナ端子 x 1
- AM アンテナ端子 x 1
- 音声出力スピーカー端子（2）x 2
  実用最大出力：４０ W＋４０ W（JEITA/4 Ω）
  インピーダンス：4 Ω － 16 Ω

USB
USB 2.0 フルスピード規格対応
対応機器：USB マスストレージクラス機器
対応ファイルシステム：FAT16 および FAT32
USB 出力電源：最大 5V/500 mA

総合
電源電圧： AC100V、50Hz/60Hz
消費電力（使用中）：45 W
消費電力（待機中）：0.7 W（表示窓消灯時）
寸法（幅 x 高さ x 奥行き）
：245.6 mm x 103.8 mm x 283 mm（突起部含む）[EX-A3]
：245.6 mm x 113.8 mm x 283 mm（突起部含む）[EX-A3LTD]
質量 ：3.8kg [EX-A3]
：4.4kg [EX-A3LTD]

スピーカー（SP-EXA3/SP-EXA3LTD）

形式： 1 ウェイバスレフ型
防磁形（JEITA）
スピーカーユニット：9.0cm ウッドコーンスピーカー
最大入力： 40 W
インピーダンス： 4 Ω
周波数帯： 55 Hz － 20 kHz
出力音圧レベル： 82 dB/W·m
寸法（幅 x 高さ x 奥行き）：120 mm x 161 mm x 266.5 mm（突起部含む）
質量（1 本あたり）：1.8 kg

- 本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- JEITA は、電子情報技術産業協会の規格による数値です。

索引

英数字

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

その他

別売りのオプション品

・オーディオコード	: CN-510E（1 m）
・オーディオコード	: CN-D110E（1 m）
・光デジタルコード	: XN-110SA（1 m）
・S ビデオコード	: VC-S110E（1 m）
・D 端子用ビデオコード	: VX-DS110（1 m）
・ステレオミニプラグコード	: CN-203A（1.5 m）
・アンテナコード	: VX-22A（1 m）
・AV コンピュリンク用コード	: CN-120A（1.5 m）
・DVD レンズクリーナー	: CL-DVDLW/CL-DVDLA
・アンテナコネクター	: VZ-71A（300 Ω /75 Ω 対応）
・FM フィーダーアンテナ	: CN-511A（300 Ω 対応）（アンテナコネクターと一緒に使います。）
スピーカースタンド	: LS-EXA3

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
品番は変更されることがあります。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
65 ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120－2828－17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話 (045)450-8950 FAX (045)450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

・ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、**64** ページをご覧ください。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

1007SKMMODJMM